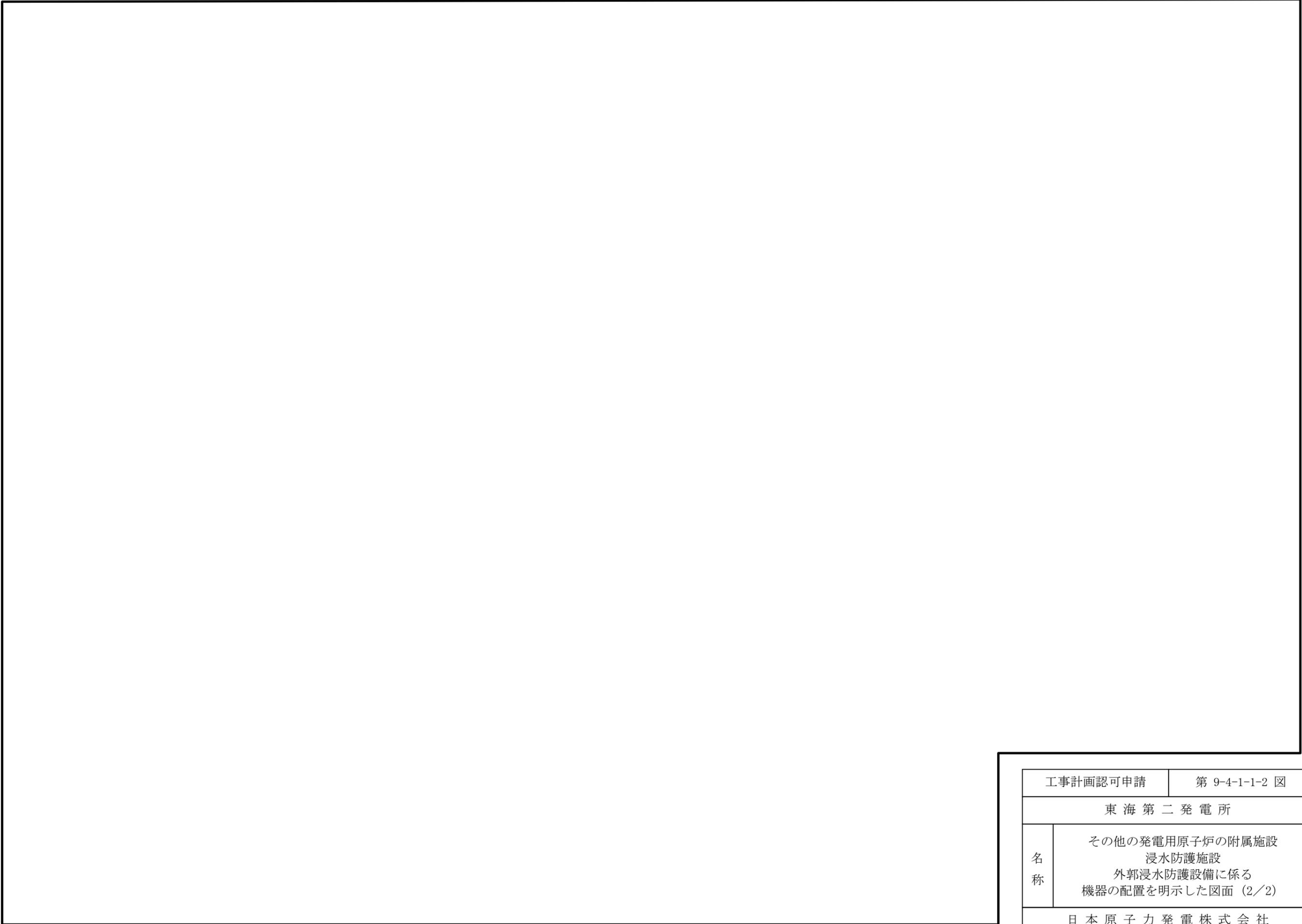
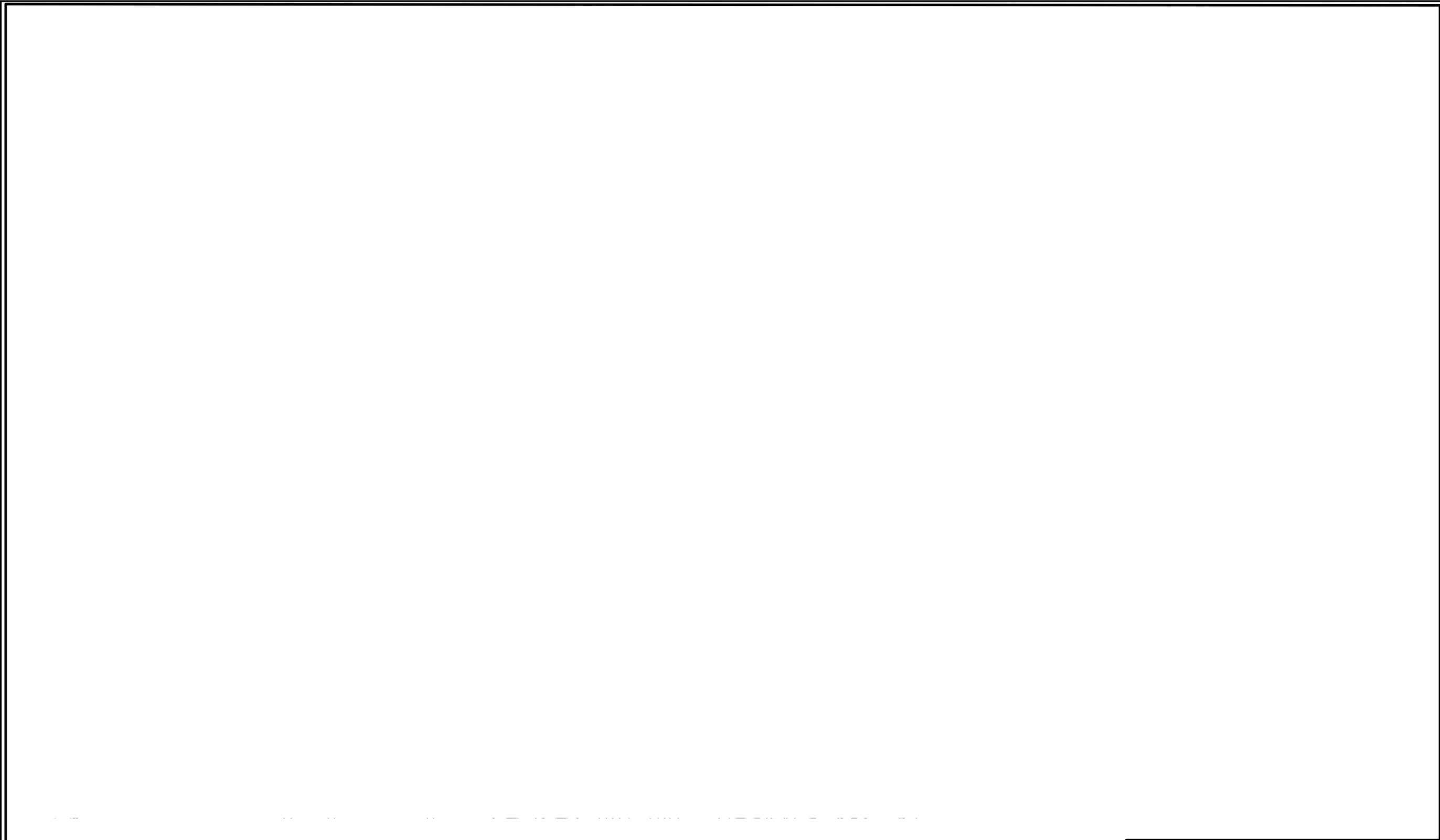




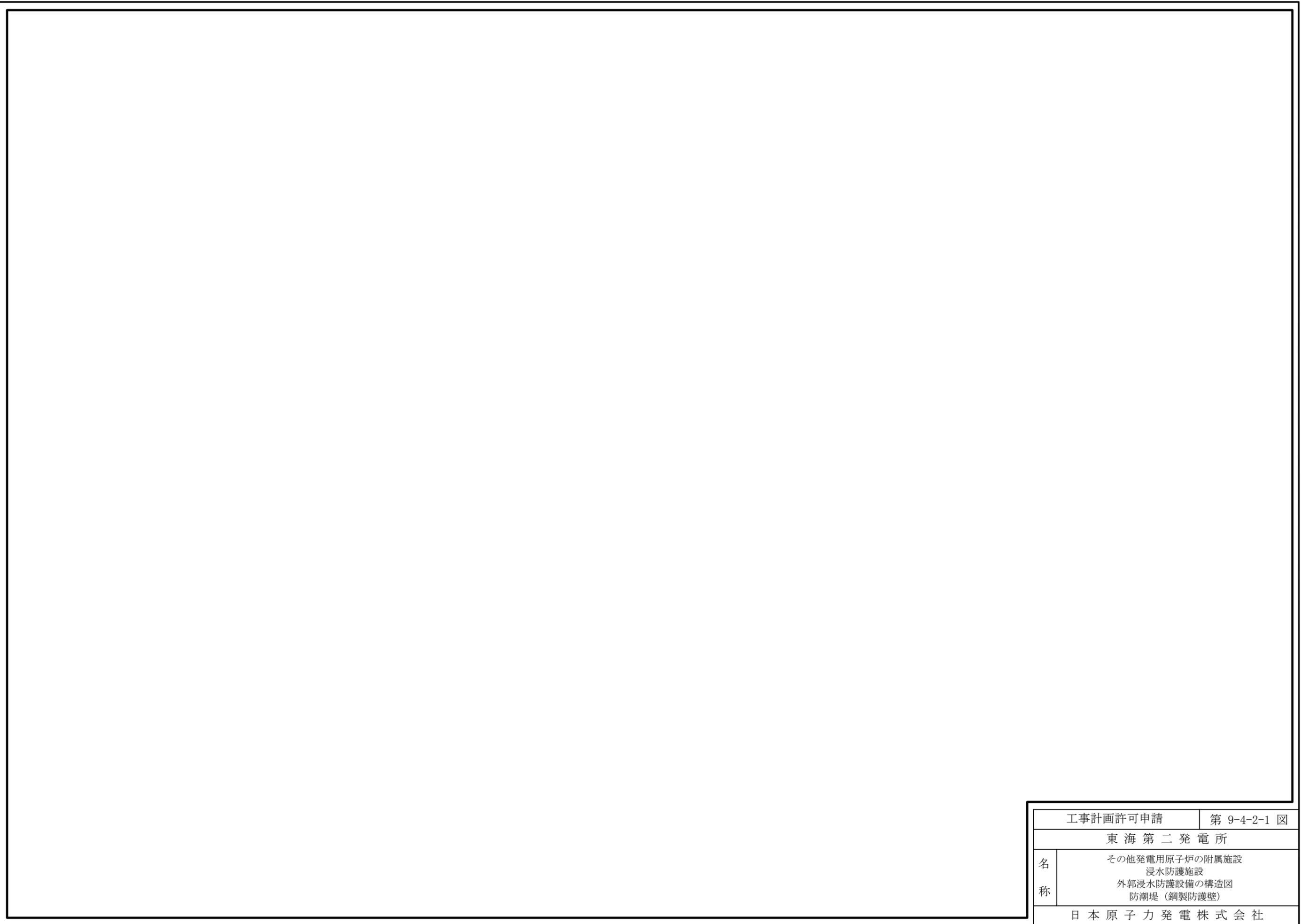
工事計画認可申請		第 9-4-1-1-1 図
東海第二発電所		
名称	その他の発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (1/2)	
日本原子力発電株式会社		



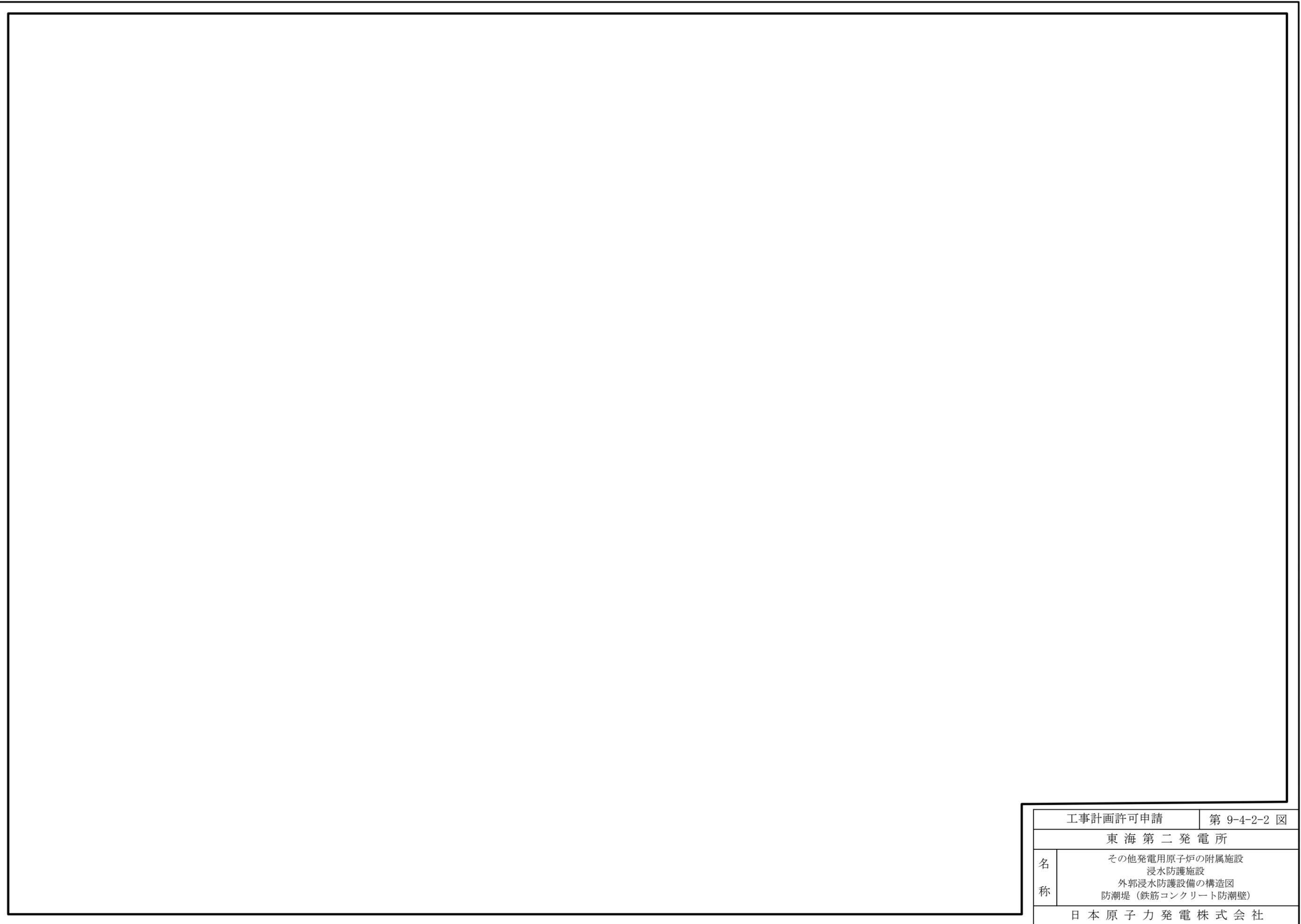
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-2 図
東海第二発電所	
名称	その他の発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備に係る 機器の配置を明示した図面 (2/2)
日本原子力発電株式会社	



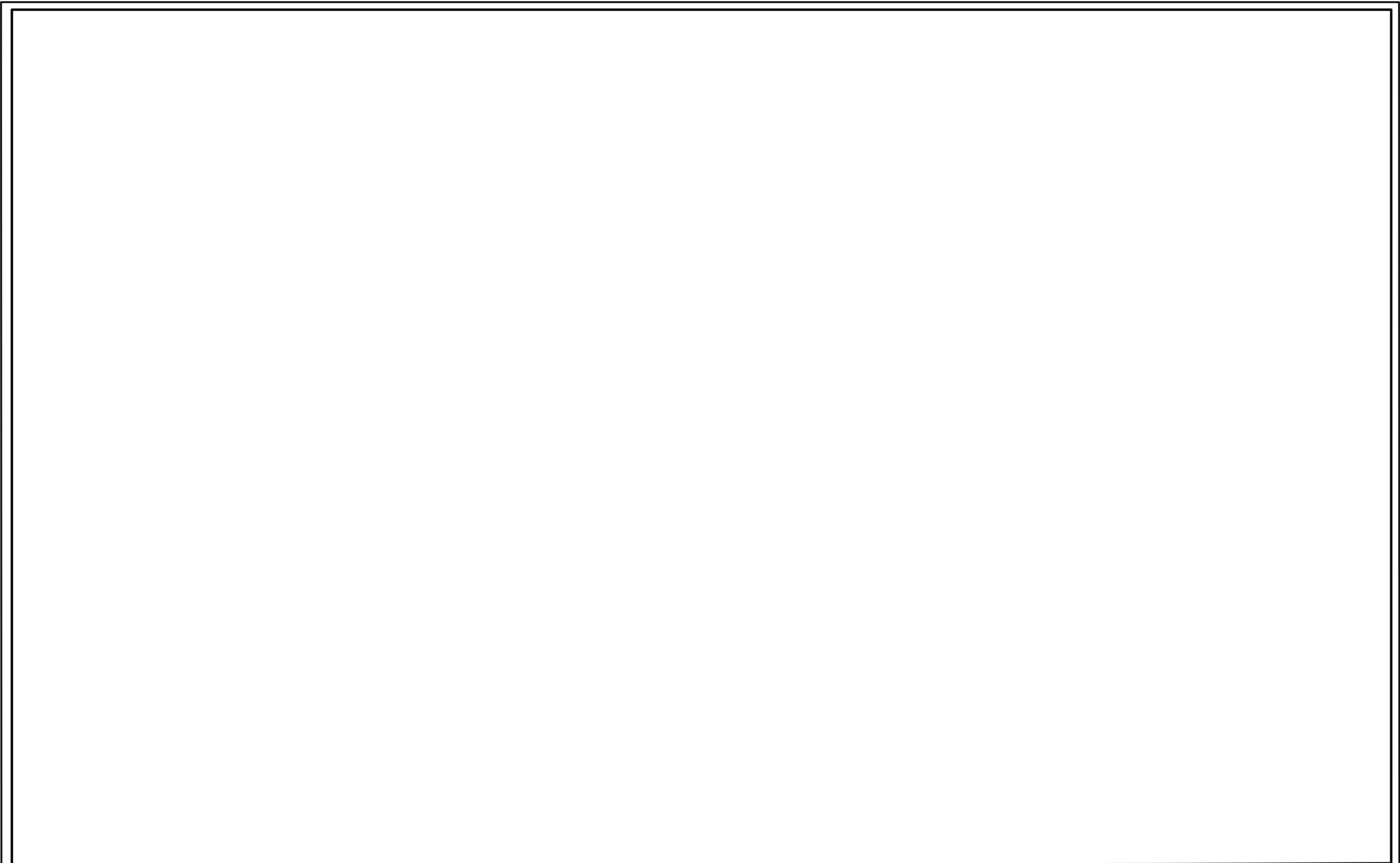
工事計画認可申請		第9-4-1-3 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設に係る機器の配置を 明示した図面（貯留堰）	
日本原子力発電株式会社		



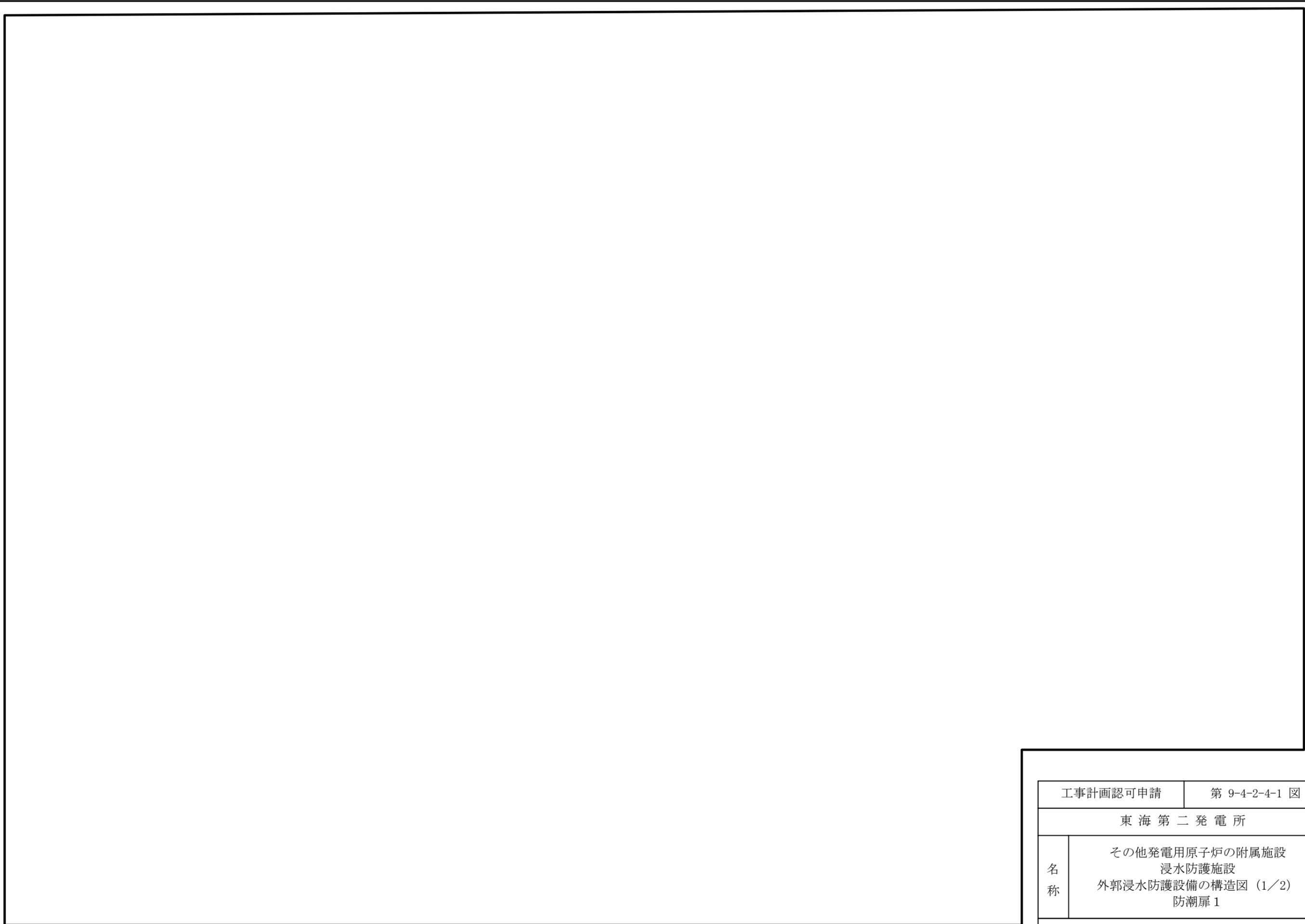
工事計画許可申請		第 9-4-2-1 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 防潮堤（鋼製防護壁）	
日本原子力発電株式会社		
		7Y11



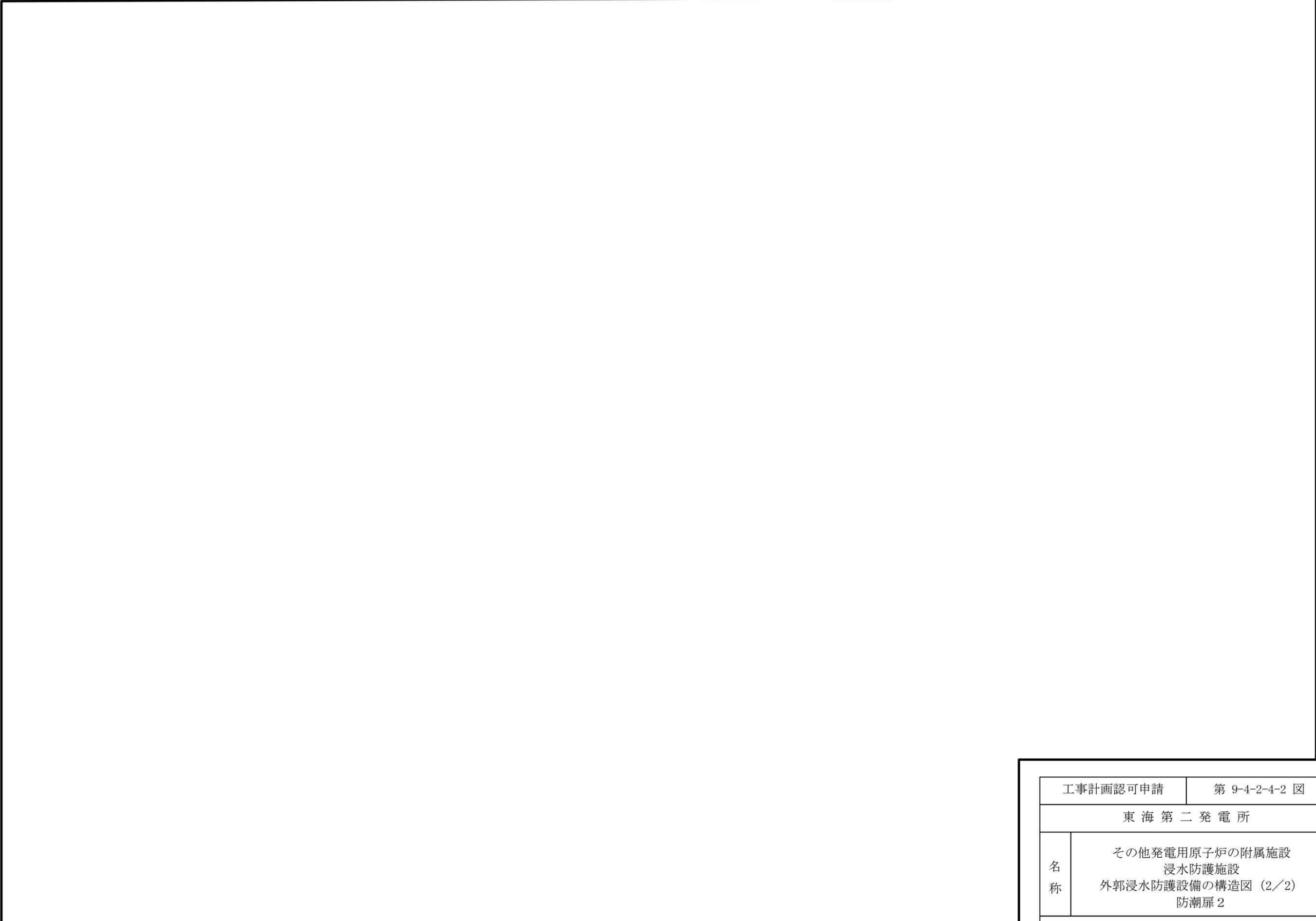
工事計画許可申請		第 9-4-2-2 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）	
日本原子力発電株式会社		
		7Y11



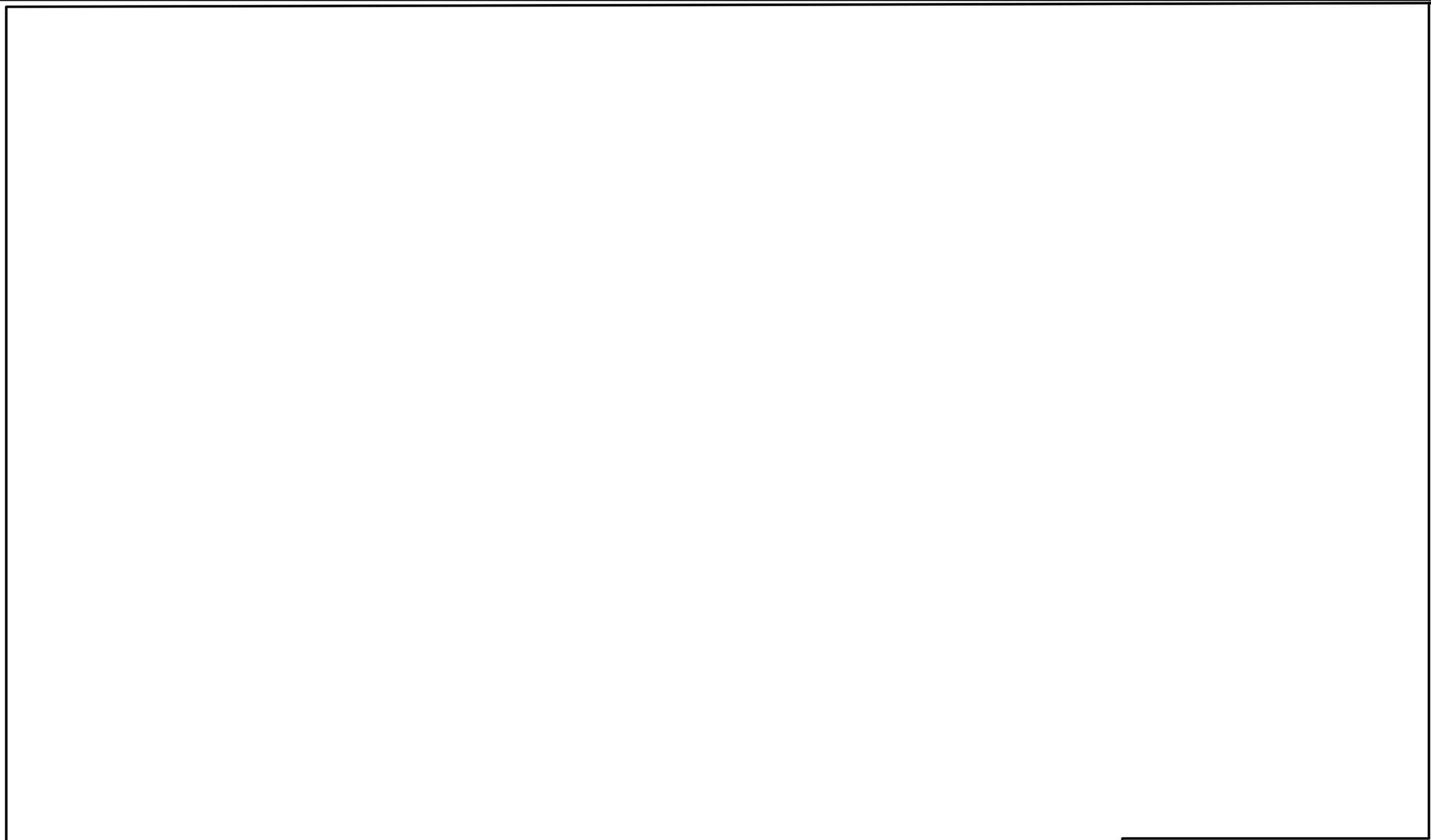
工事計画許可申請		第 9-4-2-3 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）	
日本原子力発電株式会社		
		7Y11



工事計画認可申請	第 9-4-2-4-1 図
東 海 第 二 発 電 所	
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 (1/2) 防潮扉 1
日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社	



工事計画認可申請	第 9-4-2-4-2 図
東 海 第 二 発 電 所	
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 (2/2) 防潮扉 2
日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社	



工事計画認可申請	第 9-4-2-5 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 放水路ゲート1, 2, 3
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-2-5 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 放水
路ゲート 1, 2, 3」別紙

(1) 放水路ゲートの寸法許容範囲

工事計画書記載の放水路ゲートに関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称			適用寸法 (mm)			備 考
			最大値	公称値	最小値	
放水路ゲート 1, 2, 3	扉 体	たて	<input type="text"/>	3730	<input type="text"/>	
		横	<input type="text"/>	4200	<input type="text"/>	
		厚さ	<input type="text"/>	828	<input type="text"/>	
		スキンプレー ト厚さ	30.00	28	28	
	小 扉	たて	<input type="text"/>	660	<input type="text"/>	
		横	<input type="text"/>	1210	<input type="text"/>	
		厚さ	38.00	36	36	

(2) 許容範囲の根拠

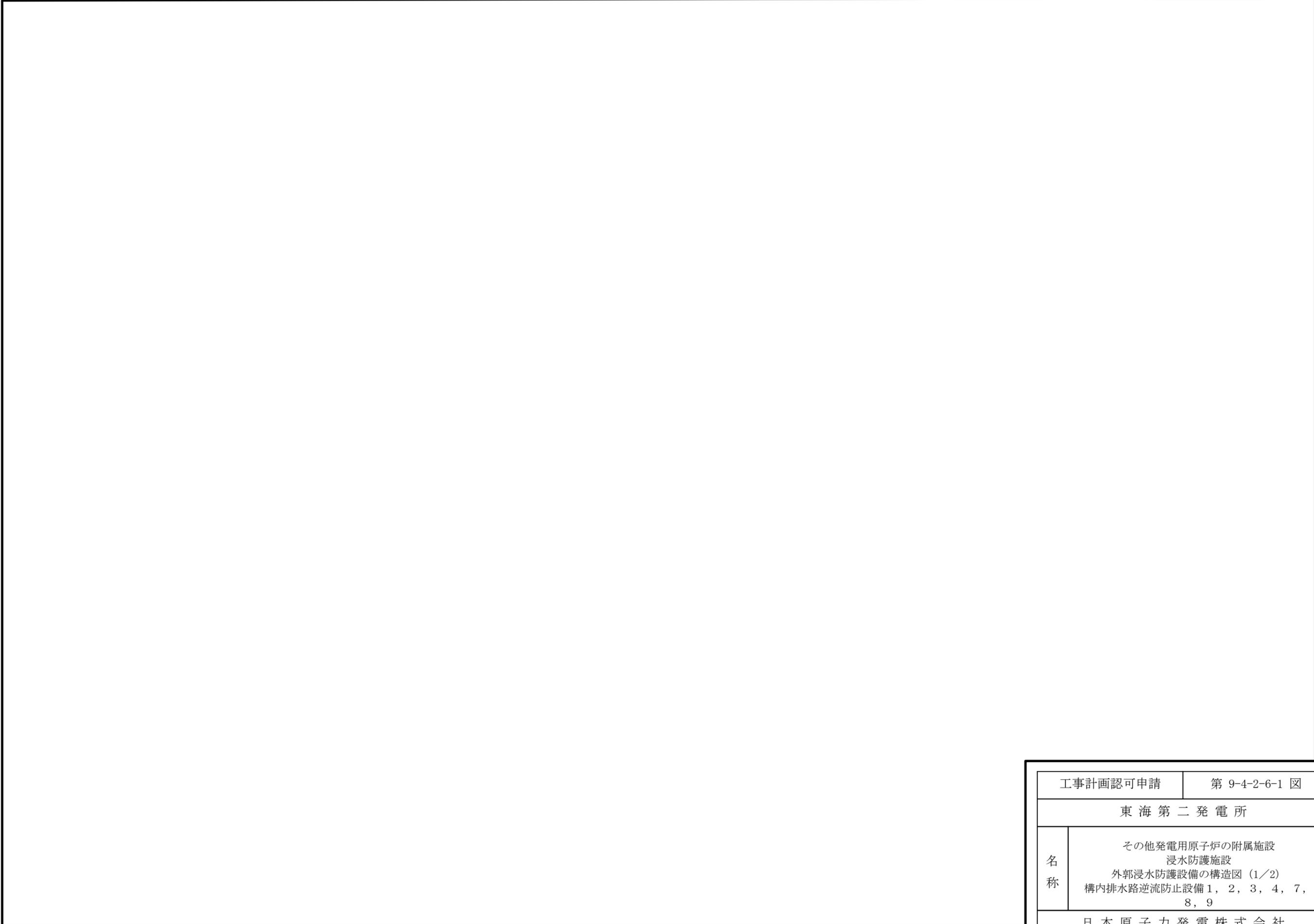
許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
放水路ゲート 1, 2, 3	扉体	たて 公称値 <input type="text"/>	
	扉体	横 公称値 <input type="text"/>	
	扉体	厚さ 公称値 <input type="text"/>	
	スキンプレー ト厚さ	公称値 +2.00mm 公称値 -0mm	JIS G 3193*1の表6 板の厚さの許容差 (厚さ4mm以上)の 幅2500以上3150未 満のクラスCを適用

(続き)

名称		許容差	根拠
放水路ゲート 1, 2, 3	小 扉	たて 公称値 <input type="text"/>	
		横 公称値 <input type="text"/>	
		厚さ 公称値 +2.00mm 公称値 -0mm	JIS G 3193*1の表6 板の厚さの許容差 (厚さ4mm以上)の 幅2500以上3150未 満のクラスCを適用

注記 *1: 日本工業規格 JIS G 3193 「熱間圧延鋼板及鋼帯の形状, 寸法, 質量及びその許容差」



工事計画認可申請	第 9-4-2-6-1 図
東 海 第 二 発 電 所	
名 称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 (1/2) 構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9
日 本 原 子 力 発 電 株 式 有 限 公 司	

第 9-4-2-6-1 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 構内排水路逆流防止設備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9」の補足

(1) 構内排水路逆流防止設備の寸法許容範囲

工事計画書記載の構内排水路逆流防止設備に関する公称値の許容範囲は次のとおり

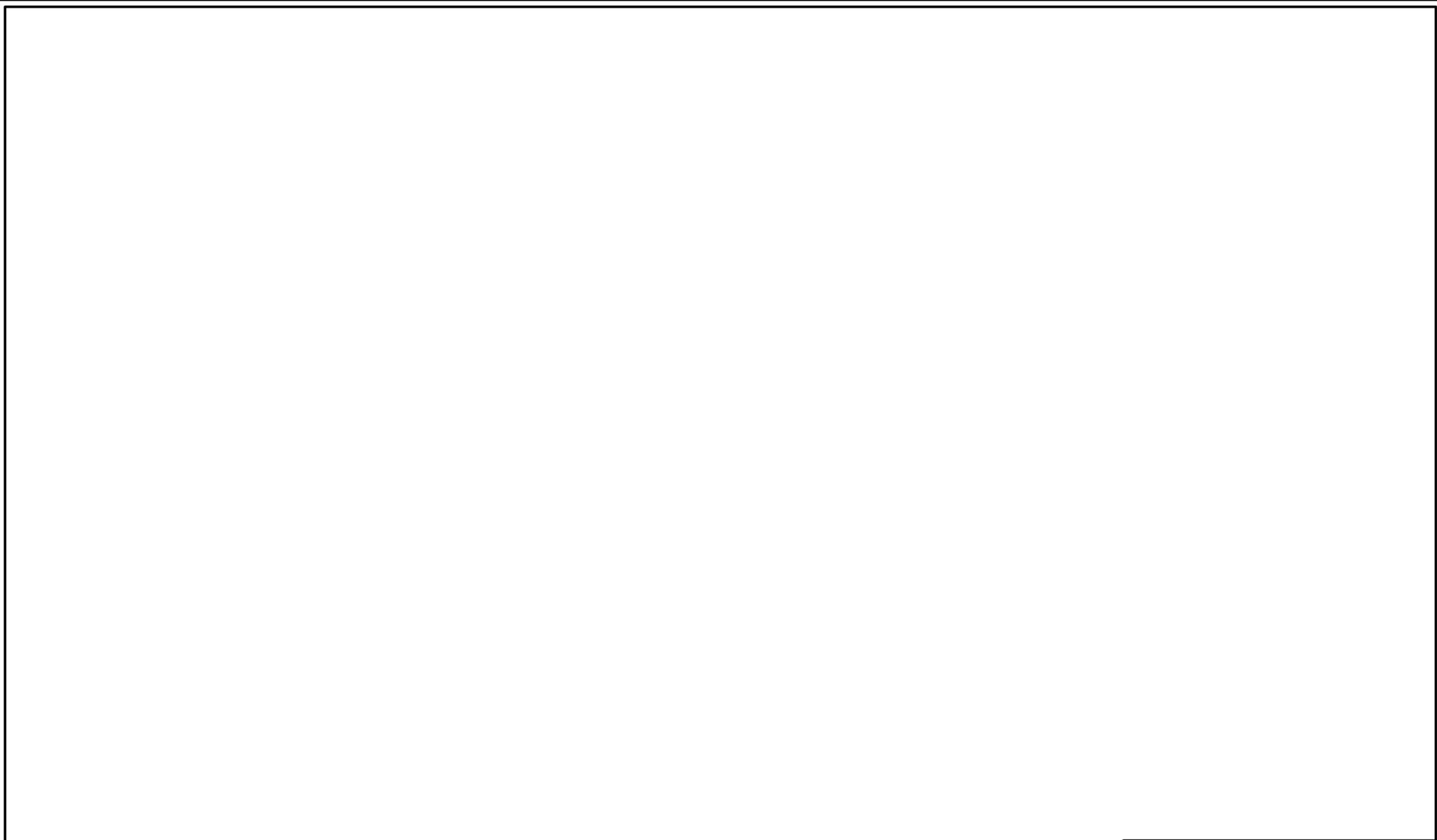
名 称		適用寸法 (mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
構内排水路逆流 防 止 設 備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9	外径	<input type="text"/>	1200	<input type="text"/>	
	厚さ	<input type="text"/>	261	<input type="text"/>	
	スキンプレ ート厚さ	<input type="text"/>	16.0	16.0	

(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
構内排水路逆流 防 止 設 備 1, 2, 3, 4, 7, 8, 9	外径	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>
	厚さ	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>
	スキンプレ ート厚さ	公称値 <input type="text"/> 公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>

注記 *1: 日本工業規格 JIS G 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」



工事計画認可申請		第 9-4-2-6-2 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 (2/2) 構内排水路逆流防止設備 5, 6	
日本原子力発電株式会社		

第 9-4-2-6-2 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 構内排水路逆流防止設備 5, 6」の補足

(1) 構内排水路逆流防止設備の寸法許容範囲

工事計画書記載の構内排水路逆流防止設備に関する公称値の許容範囲は次のとおり

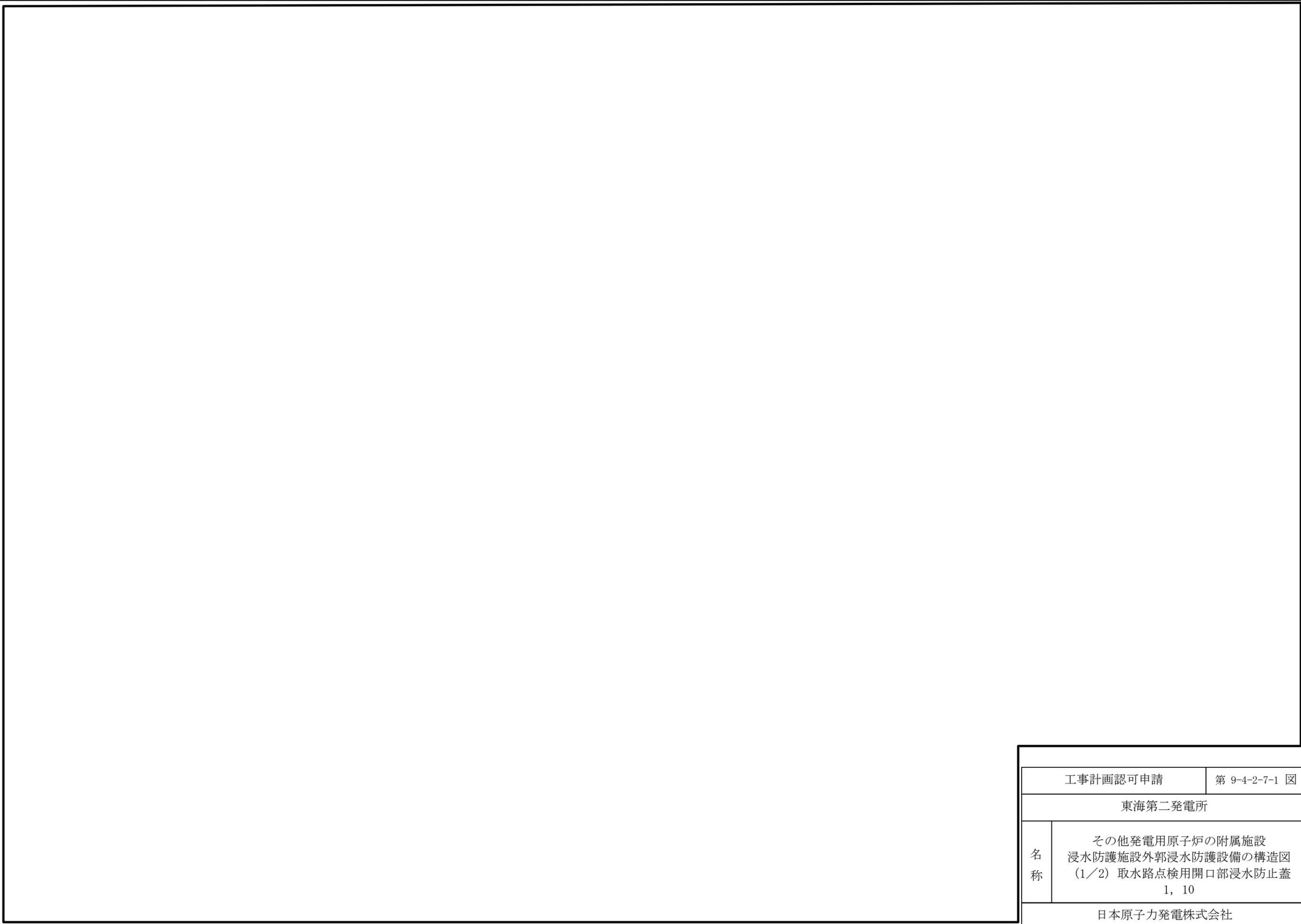
名 称		適用寸法 (mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
構内排水路逆流防止設備 5, 6	外径	<input type="text"/>	650	<input type="text"/>	
	厚さ	<input type="text"/>	154	<input type="text"/>	
	スキンプレート厚さ	<input type="text"/>	9.0	9.0	

(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
構内排水路逆流防止設備 5, 6	外径	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>
	厚さ	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>
	スキンプレート厚さ	公称値 <input type="text"/> 公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>

注記 *1: 日本工業規格 JIS G 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」



工事計画認可申請		第 9-4-2-7-1 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 (1/2) 取水路点検用開口部浸水防止蓋 1, 10	
日本原子力発電株式会社		

第 9-4-2-7-1 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護設備 外郭浸水防護設備の構造図 取水路点検用開口部浸水防止蓋 1, 10」別紙

(1) 取水路点検用開口部浸水防止蓋の寸法許容範囲

工事計画書記載の取水路点検用開口部浸水防止蓋に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
取水路点検用開口部浸水防止蓋 1, 10	たて	3824	3820	3816	
	横	872	870	868	
	厚さ	31.55	30.0	29.75	

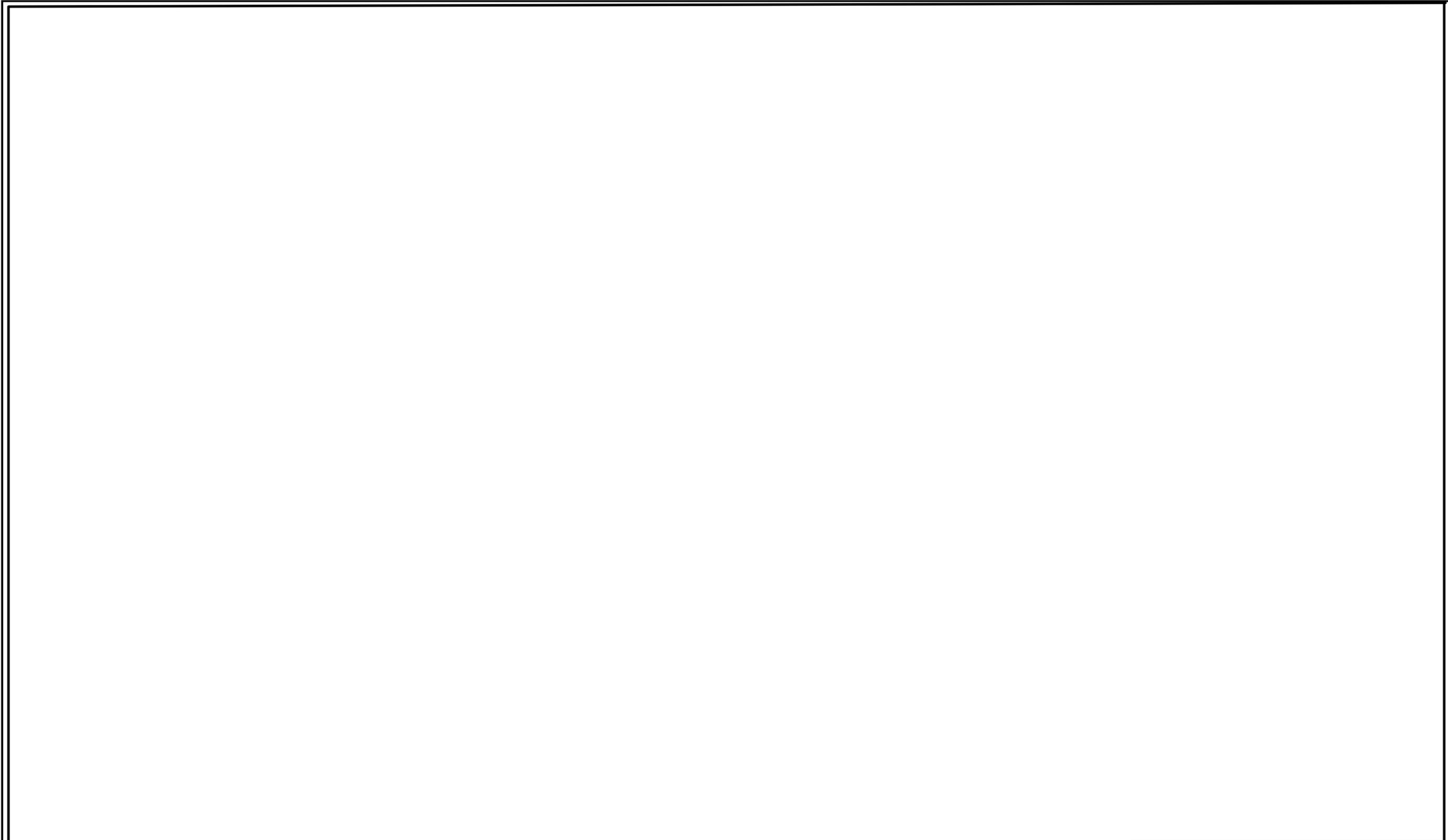
(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
取水路点検用開口部浸水防止蓋 1, 10	たて	公称値 ±4mm	JIS B 0405 の表 1 の粗級を適用
	横	公称値 ±2mm	JIS B 0405 の表 1 の粗級を適用
	厚さ	公称値 +1.55mm 公称値 -0.25mm	JIS G 4304 の表 21 板の厚さの許容差（記号 B）の幅 1000 未満を適用

注記 *1：日本工業規格 JIS B 0405 「普通公差—第 1 部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差」

*2：日本工業規格 JIS G 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」



工事計画認可申請		第 9-4-2-7-2 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 (2/2) 取水路点検用開口部浸水防止蓋 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	
日本原子力発電株式会社		

第 9-4-2-7-2 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護設備 外郭浸水防護設備の構造図 取水路点検用開口部浸水防止蓋 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9」別紙

(1) 取水路点検用開口部浸水防止蓋の寸法許容範囲

工事計画書記載の取水路点検用開口部浸水防止蓋に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
取水路点検用開口部浸水防止蓋 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	たて	3824	3820	3816	
	横	1538	1535	1532	
	厚さ	52.15	50.0	49.75	

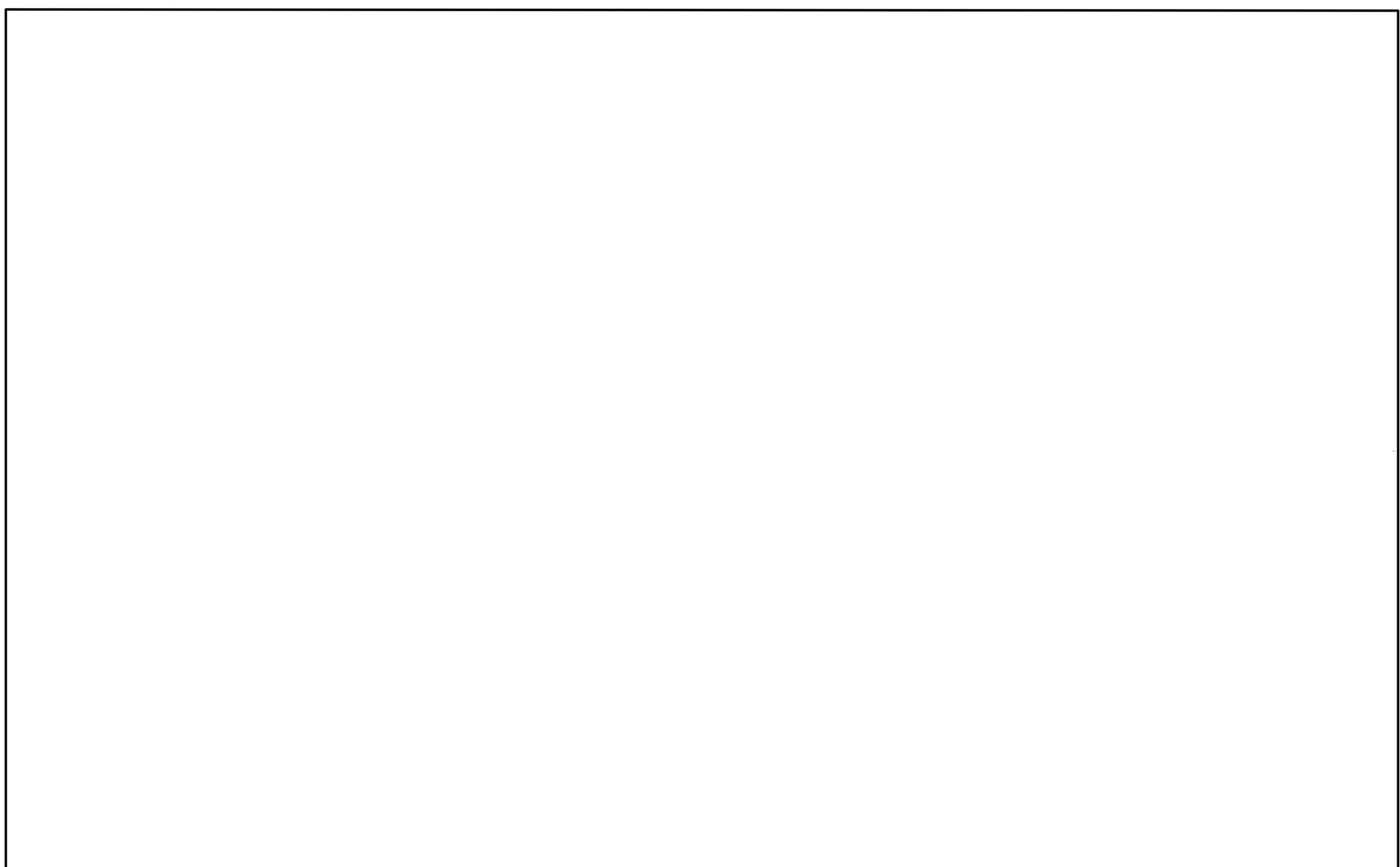
(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

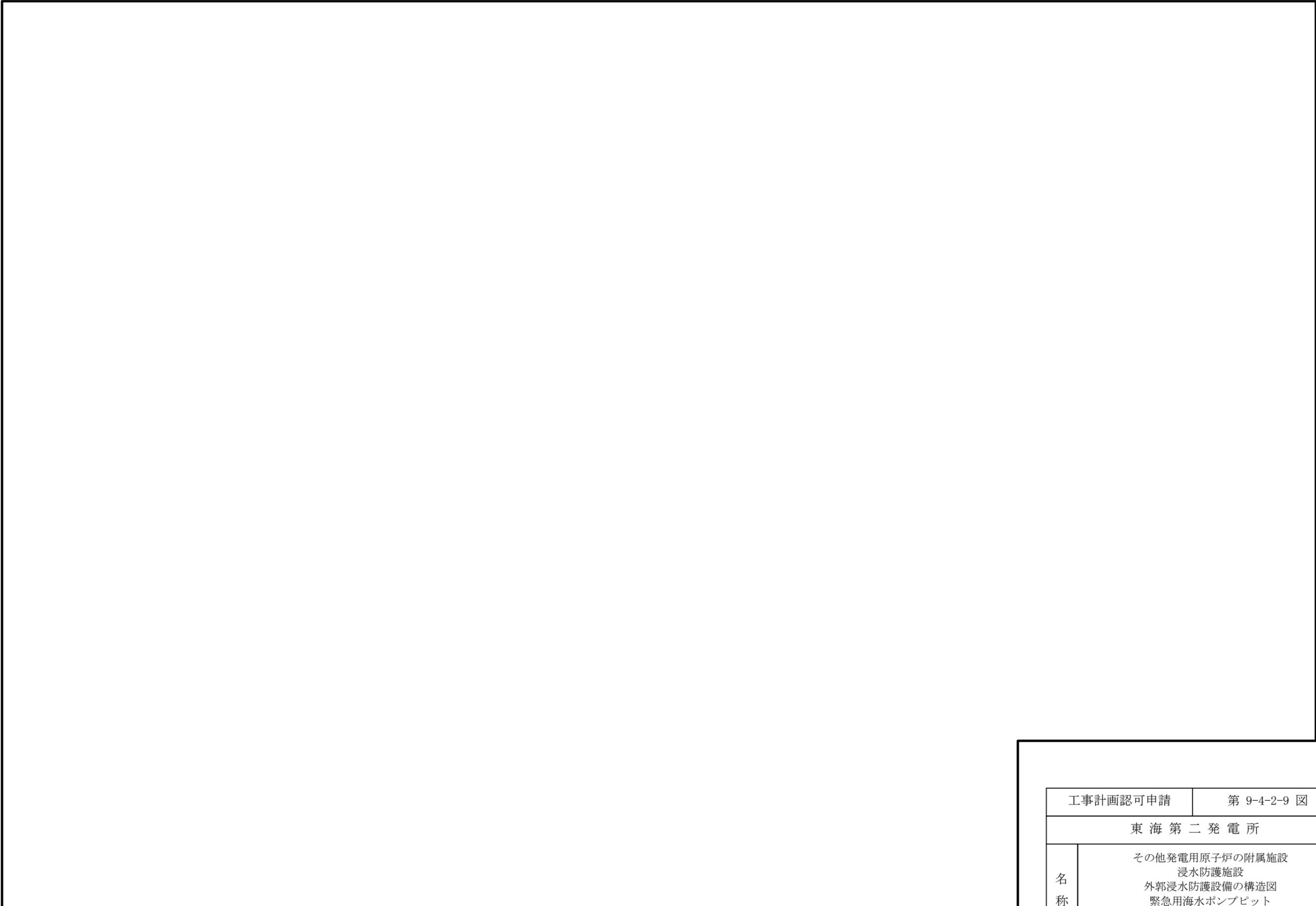
名称		許容差	根拠
取水路点検用開口部浸水防止蓋 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	たて	公称値 ±4mm	JIS B 0405 ^{*1} の表 1 の粗級を適用
	横	公称値 ±3mm	JIS B 0405 ^{*1} の表 1 の粗級を適用
	厚さ	公称値 +2.15mm 公称値 -0.25mm	JIS G 4304 ^{*2} の表 21 板の厚さの許容差（記号 B）の幅 1250 以上 1600 未満を適用

注記 *1：日本工業規格 JIS B 0405 「普通公差—第 1 部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差」

*2：日本工業規格 JIS G 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」



工事計画認可申請		第 9-4-2-8 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 SA用海水ピット開口部浸水防止蓋	
日本原子力発電株式会社		
		7Y11



工事計画認可申請	第 9-4-2-9 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプピット 点検用開口部浸水防止蓋
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-2-9 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプピット 点検用開口部浸水防止蓋」別紙

(1) 緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋の寸法許容範囲

工事計画書記載の緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋に関する公称値の許容範囲は次のとおり

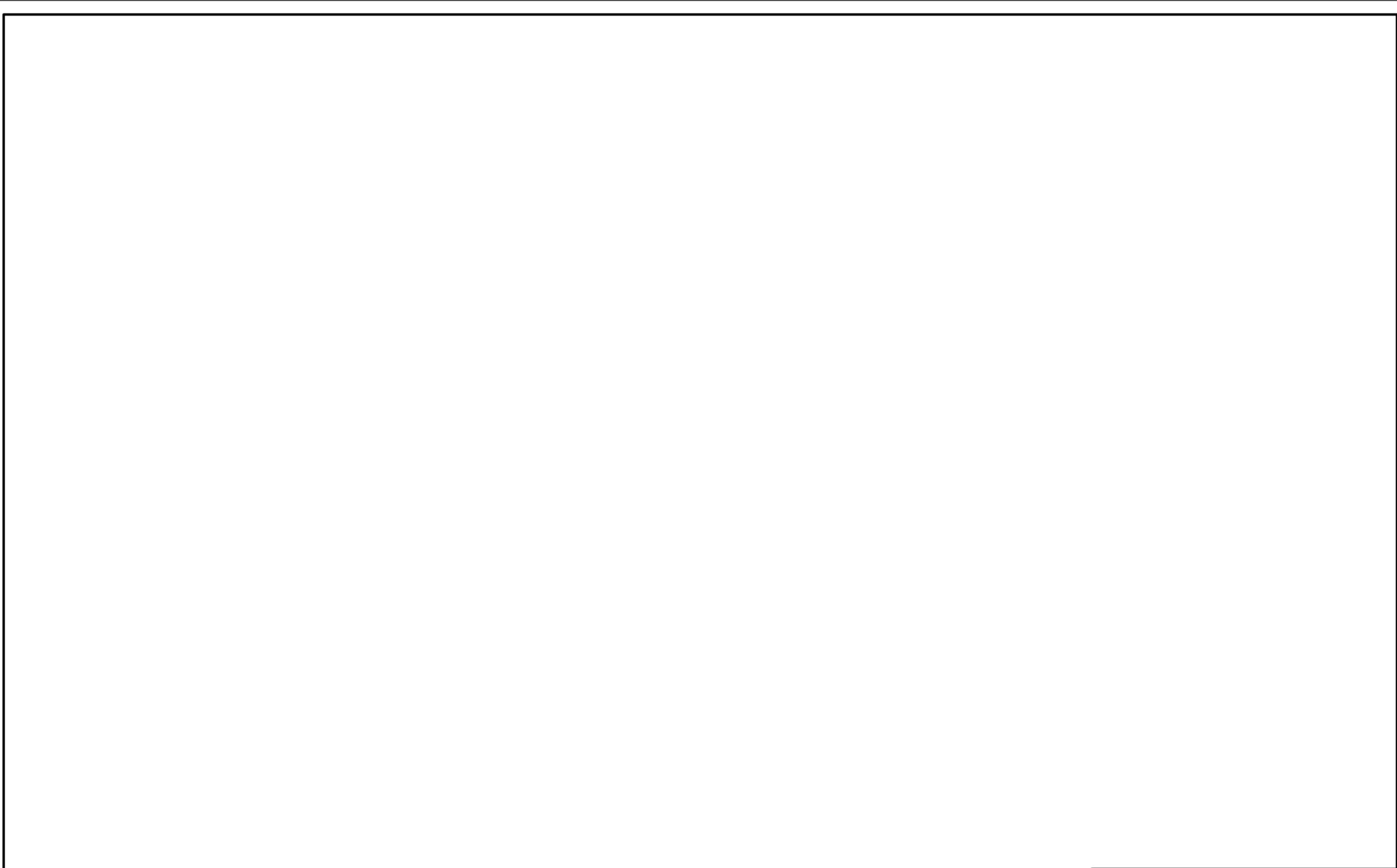
名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋構造図	たて	<input type="text"/>	970	<input type="text"/>	
	横	<input type="text"/>	970	<input type="text"/>	
	厚さ	<input type="text"/>	152	<input type="text"/>	
	スキンプルート厚さ	<input type="text"/>	12.0	12.0	

(2) 許容範囲の根拠

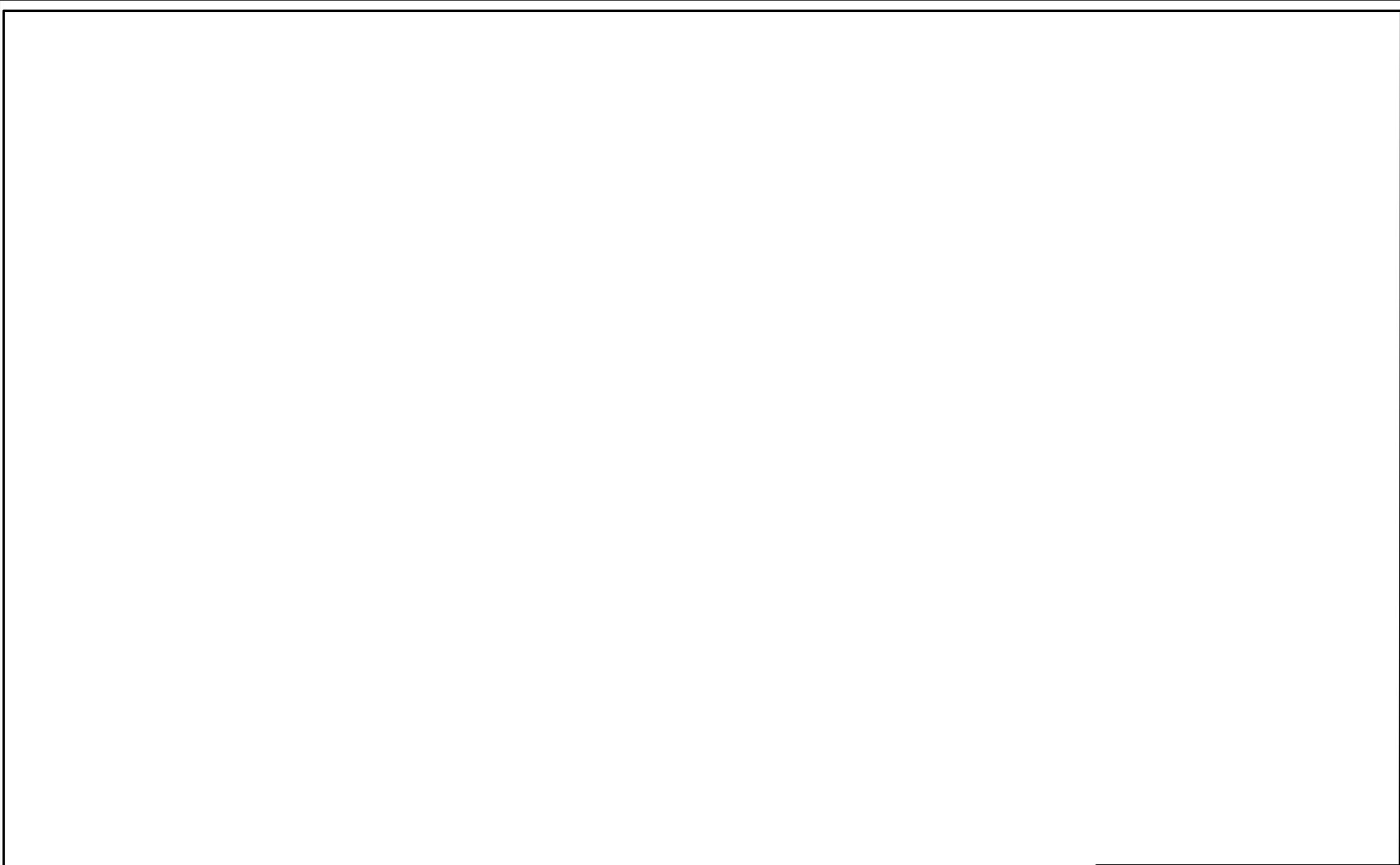
許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
緊急用海水ポンプピット点検用開口部浸水防止蓋構造図	たて	公称値 <input type="text"/>	
	横	公称値 <input type="text"/>	
	厚さ	公称値 <input type="text"/>	
	スキンプルート厚さ	公称値 <input type="text"/> 公称値 <input type="text"/>	

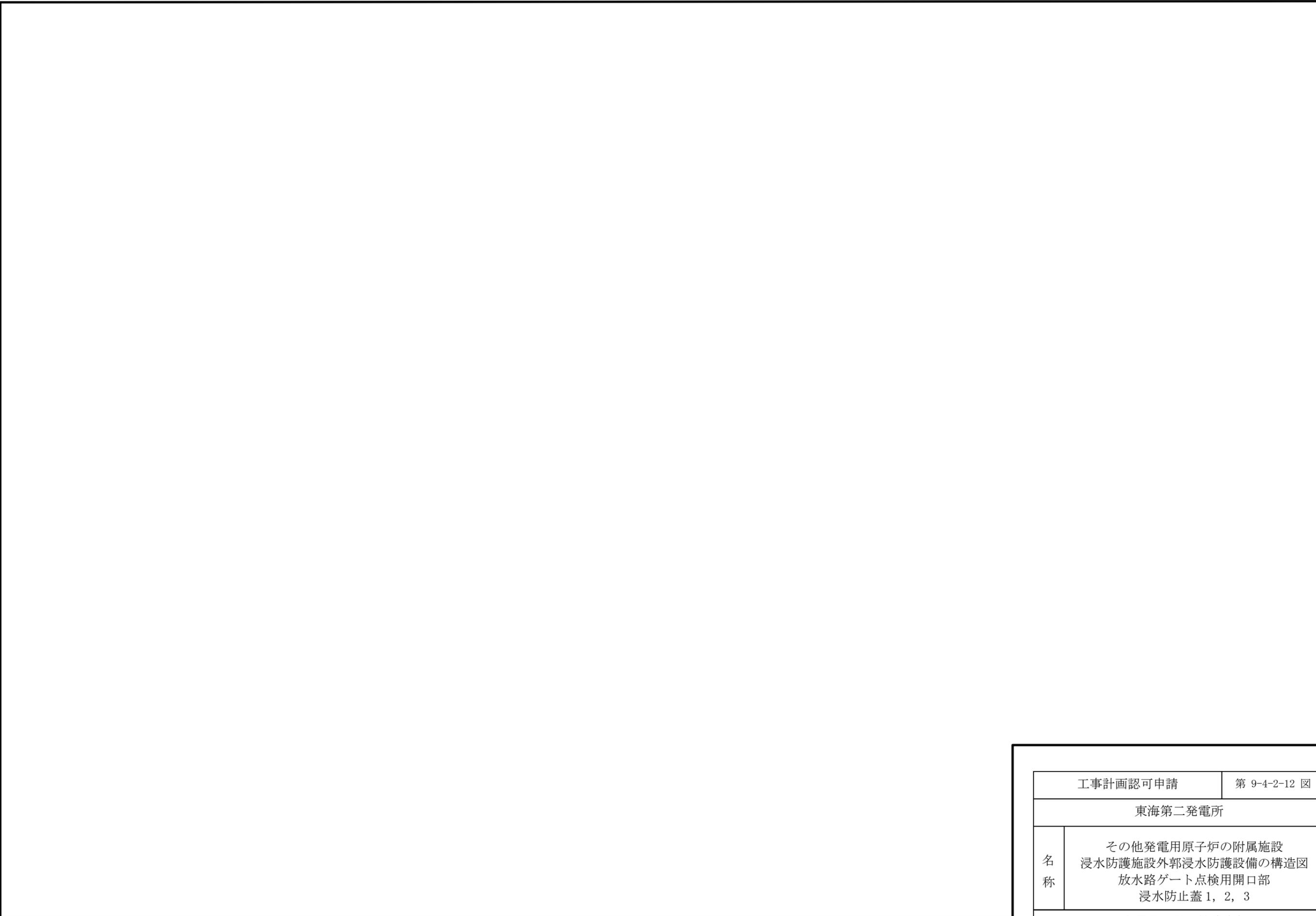
注記 *1：日本工業規格 JIS G 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」



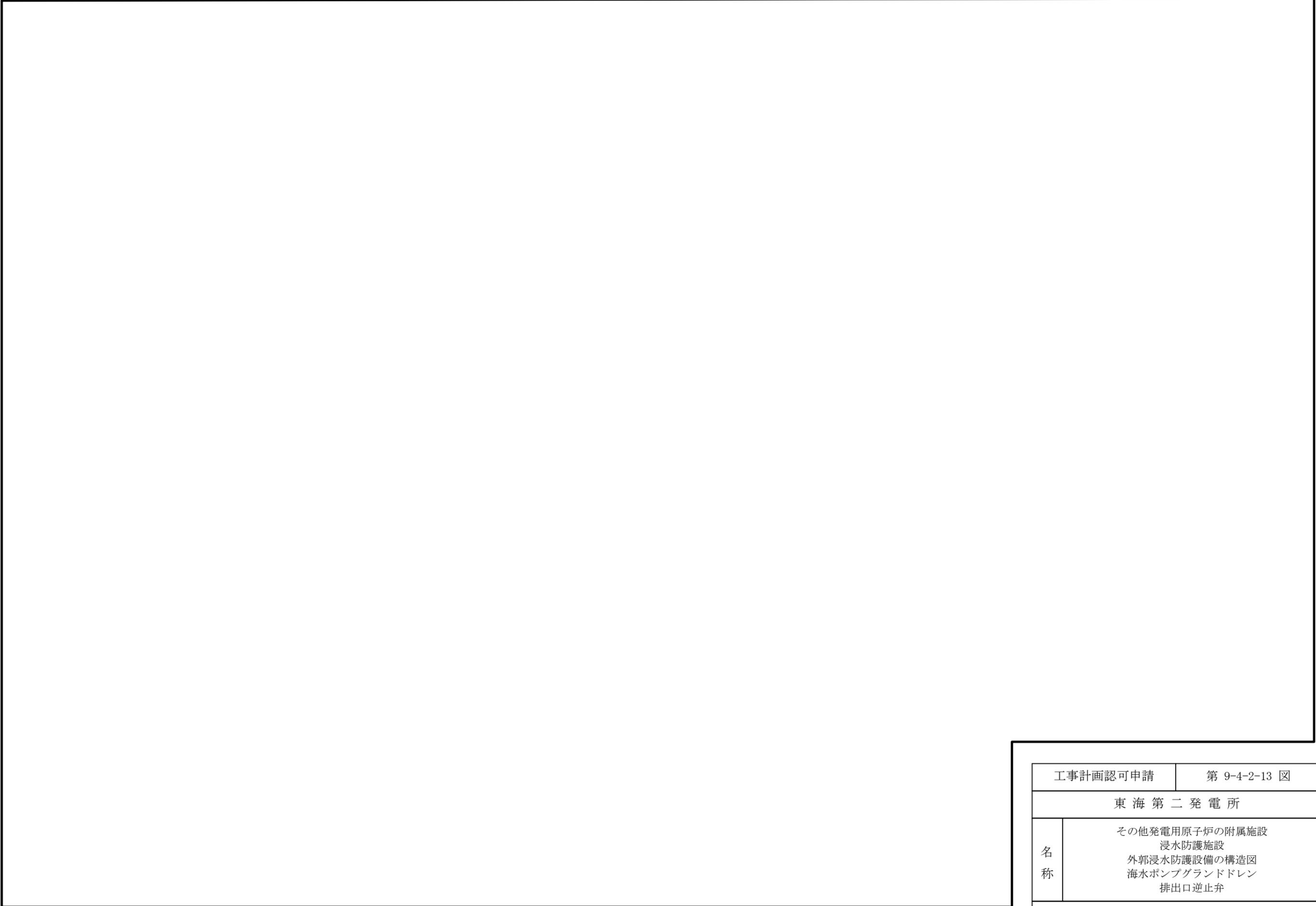
工事計画認可申請		第 9-4-2-10 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプ点検用開口部浸水防止蓋	
日本原子力発電株式会社		
		7Y11



工事計画認可申請		第 9-4-2-11 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプ室人員用開口部浸水防止蓋	
日本原子力発電株式会社		
		7Y11



工事計画認可申請		第 9-4-2-12 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 放水路ゲート点検用開口部 浸水防止蓋 1, 2, 3	
日本原子力発電株式会社		



工事計画認可申請		第 9-4-2-13 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 海水ポンプグランドドレン 排出口逆止弁	
日本原子力発電株式会社		

第 9-4-2-13 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁」別紙

(1) 海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁の寸法許容範囲

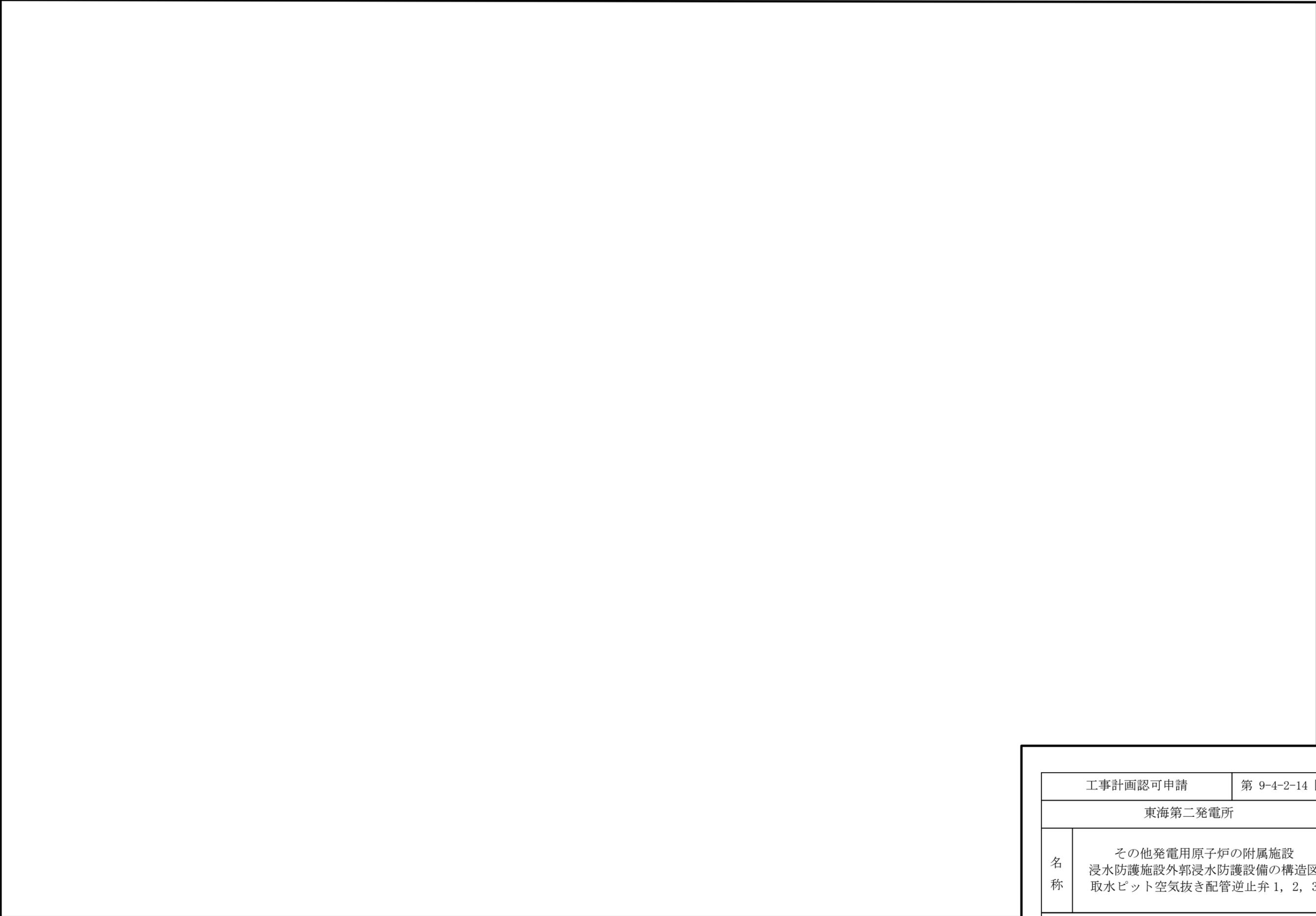
工事計画書記載の海水ポンプグラウンド dren 排出口逆止弁に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法 (mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
海水ポンプグラ ウンド dren 排 出口逆止弁 1, 2	呼び径	—	(80A)	—	
	高さ	<input type="text"/>	132	<input type="text"/>	

(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
海水ポンプグラ ウンド dren 排 出口逆止弁 1, 2	呼び径	—	—
	高さ	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>



工事計画認可申請		第 9-4-2-14 図
東海第二発電所		
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設外郭浸水防護設備の構造図 取水ピット空気抜き配管逆止弁 1, 2, 3	
日本原子力発電株式会社		

第 9-4-2-14 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 取水ピット空気抜き配管逆止弁 1, 2, 3」の補足

(1) 取水ピット空気抜き配管逆止弁の寸法許容範囲

工事計画書記載の取水ピット空気抜き配管逆止弁に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
取水ピット空気 抜き配管逆止弁 1, 2, 3	呼び径	—	(100A)	—	
	弁本体厚さ	11.2	9.0	6.8	
	弁蓋厚さ	24.0	22.0	22.0	

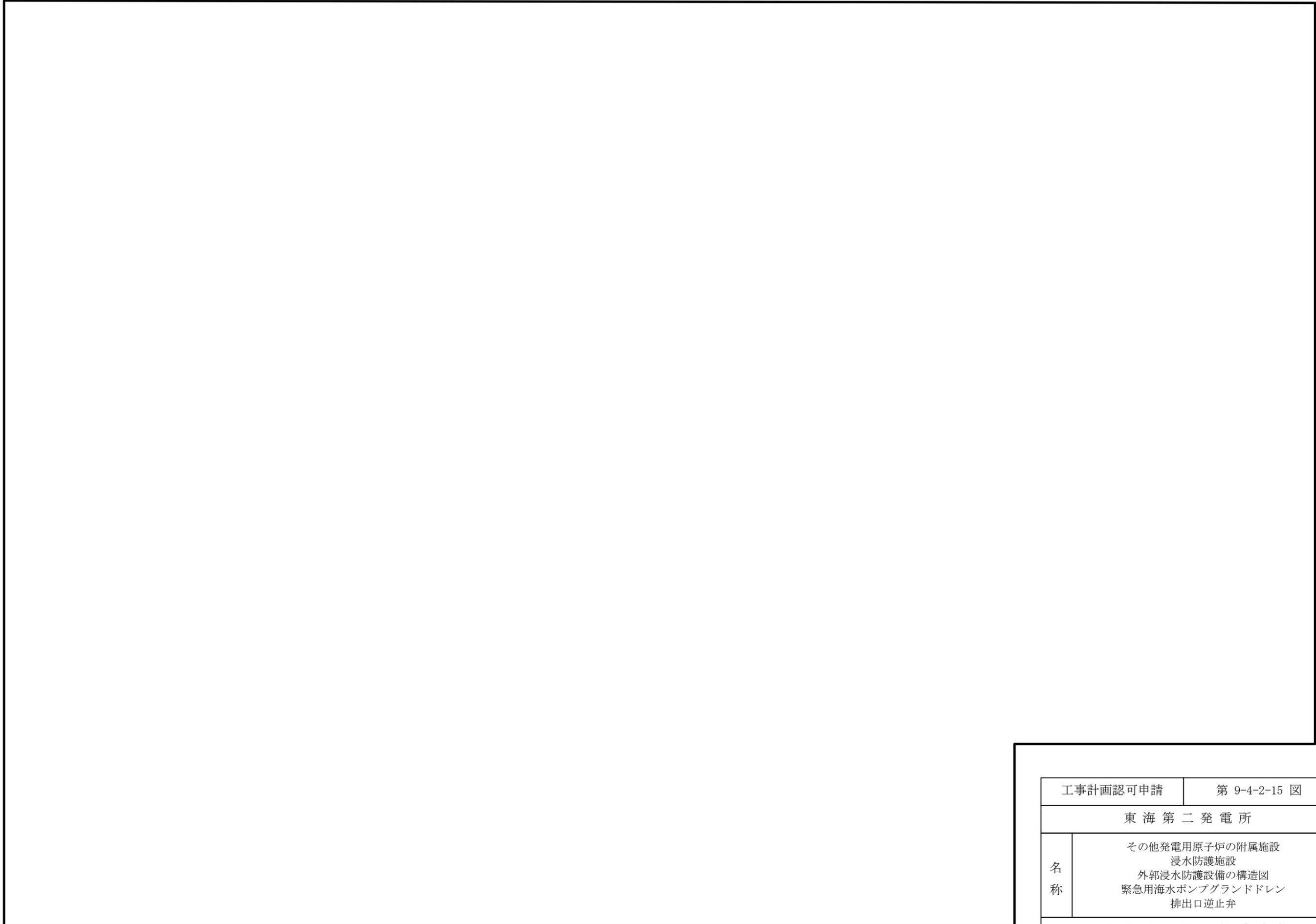
(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
取水ピット空気 抜き配管逆止弁 1, 2, 3	呼び径	—	—
	弁本体厚さ	公称値 ±2.2mm	JIS B 0403*1の付属書 2表2の中級を適用
	弁蓋厚さ	公称値 +2mm 公称値 -0mm	JIS B 2220*2のフラン ジの厚さ t-f を適用

注記 *1：日本工業規格 JIS B 0403 「鋳造品一寸法公差及び削り代方式」

*2：日本工業規格 JIS B 2220 「鋼製管フランジ」



工事計画認可申請	第 9-4-2-15 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプグラウンドドレン 排出口逆止弁
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-2-15 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁」別紙

(1) 緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁の寸法許容範囲

工事計画書記載の緊急用海水ポンプグランドドレン排出口逆止弁に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
緊急用海水ポン プグランドドレ ン排出口逆止弁	呼び径	—	(80A)	—	
	高さ	<input type="text"/>	132	<input type="text"/>	

(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
緊急用海水ポン プグランドドレ ン排出口逆止弁	呼び径	—	—
	高さ	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>

工事計画認可申請

第 9-4-2-16 図

東海第二発電所

名称

その他発電用原子炉の附属施設
浸水防護施設
外郭浸水防護設備の構造図
緊急用海水ポンプ室
床ドレン排出口逆止弁

日本原子力発電株式会社

第 9-4-2-16 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁」別紙

(1) 緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁の寸法許容範囲

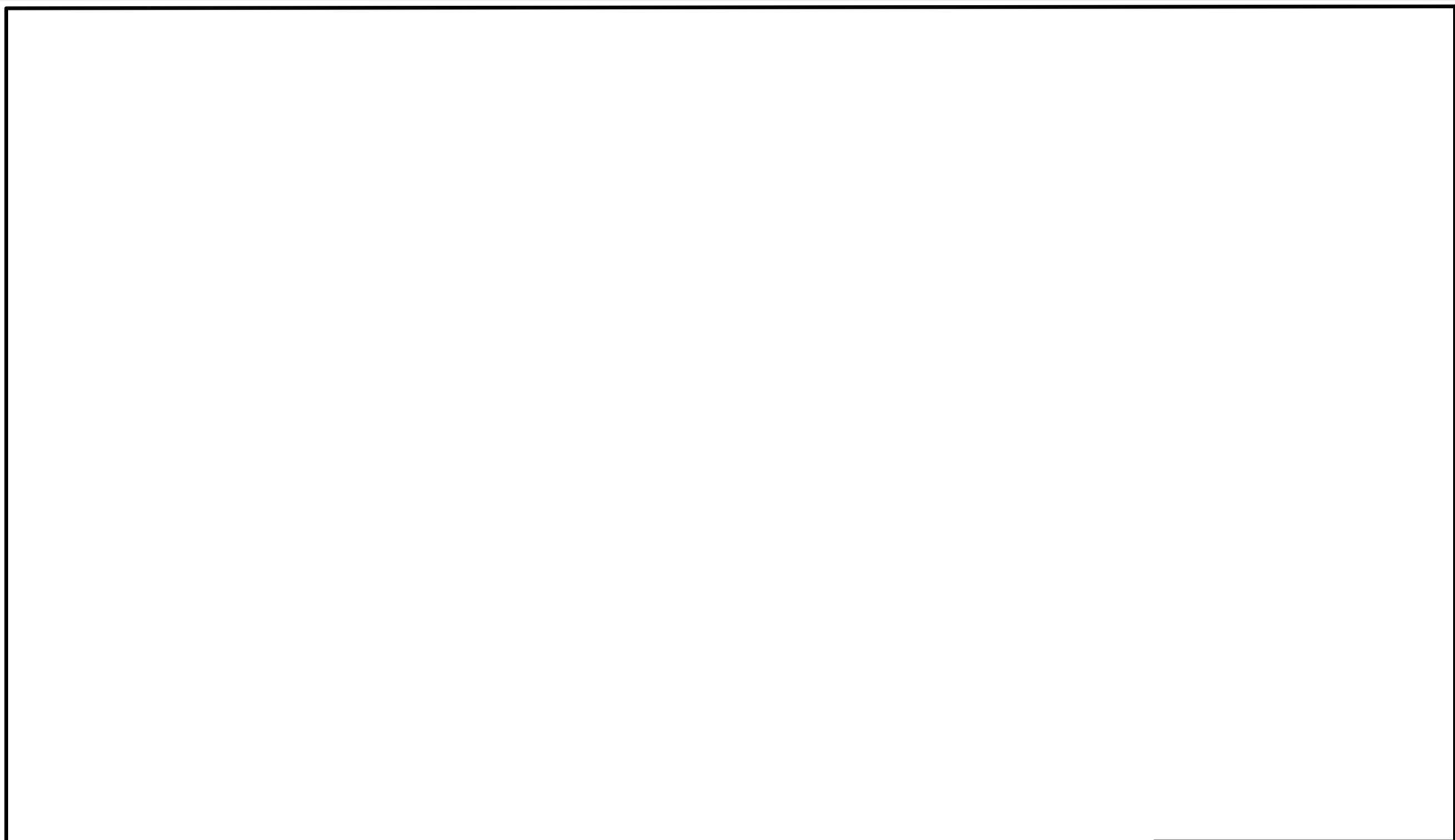
工事計画書記載の緊急用海水ポンプ室床ドレン排出口逆止弁に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
緊急用海水ポン プ室床ドレン排 出口逆止弁	呼び径	—	(80A)	—	
	高さ	<input type="text"/>	132	<input type="text"/>	

(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
緊急用海水ポン プ室床ドレン排 出口逆止弁	呼び径	—	—
	高さ	公称値 <input type="text"/>	<input type="text"/>



工事計画認可申請 第 9-4-2-21 図	
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋原子炉棟水密扉
日本原子力発電株式会社	
7Y11	

工事計画認可申請 第 9-4-2-22 図

東海第二発電所

名称

その他発電用原子炉の附属施設
浸水防護施設
外郭浸水防護設備の構造図
原子炉建屋付属棟東側水密扉

日本原子力発電株式会社

7Y11

工事計画認可申請 | 第 9-4-2-23 図

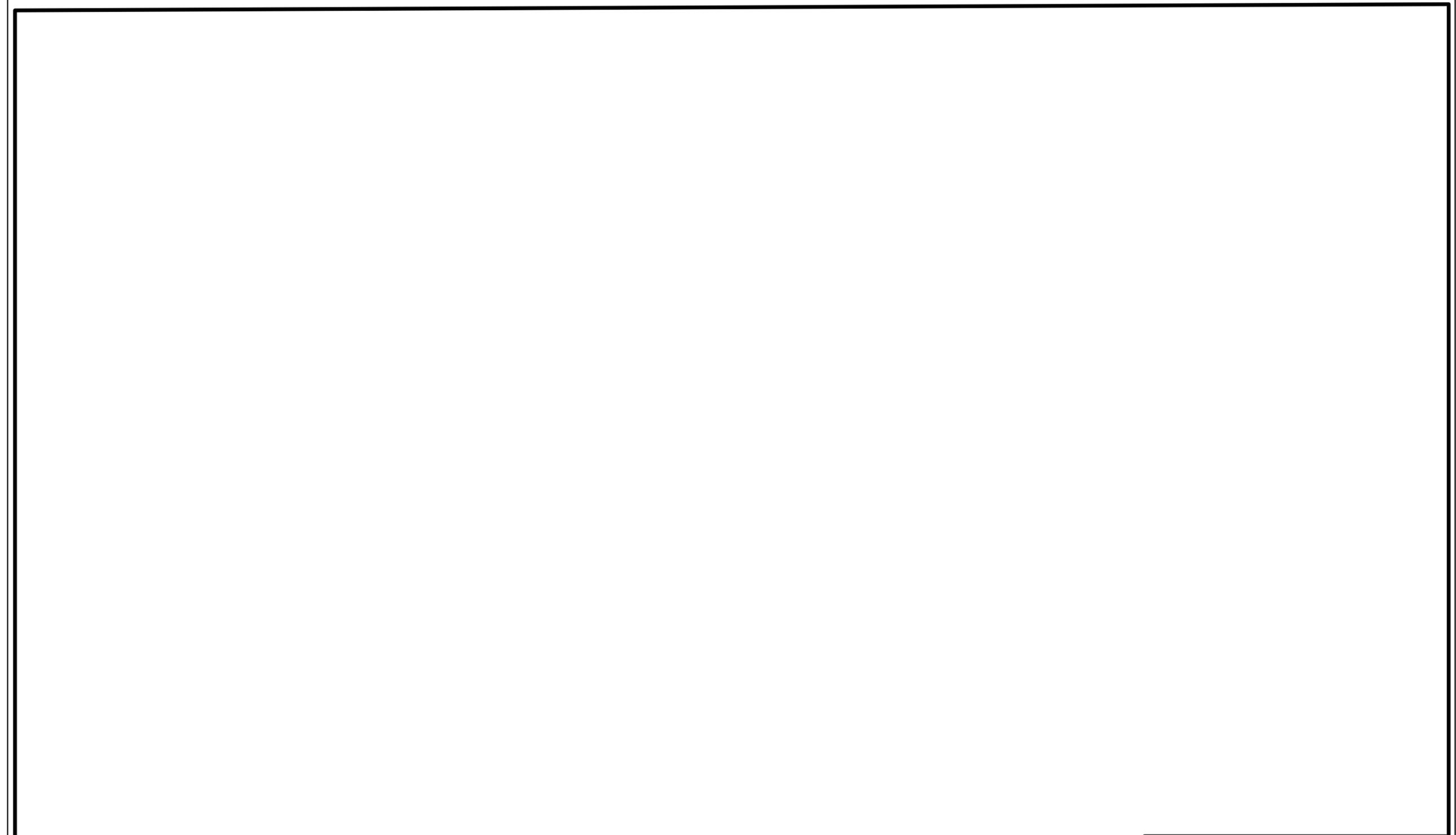
東海第二発電所

名称

その他発電用原子炉の附属施設
浸水防護施設
外郭浸水防護設備の構造図
原子炉建屋付属棟西側水密扉

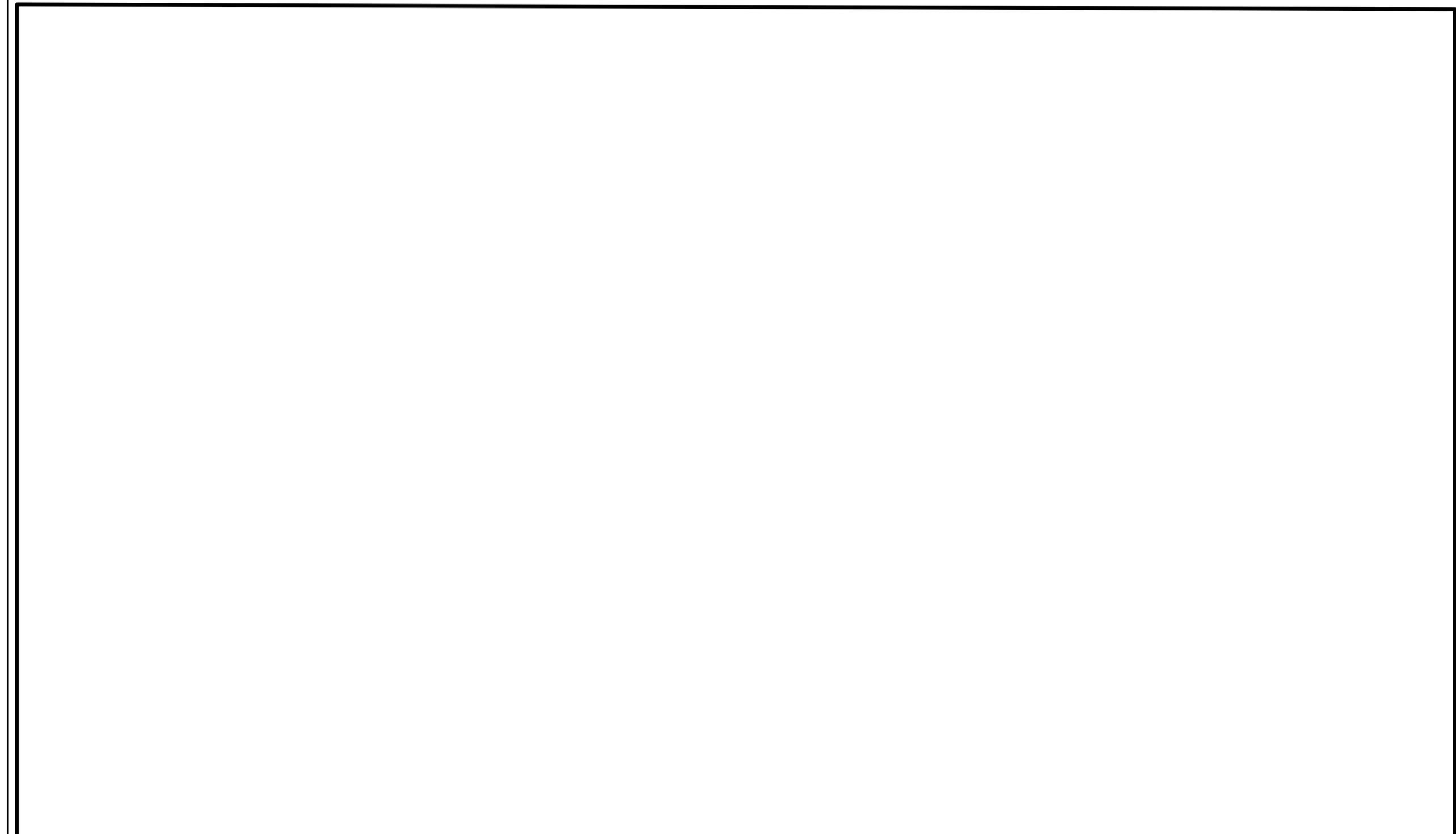
日本原子力発電株式会社

7Y11

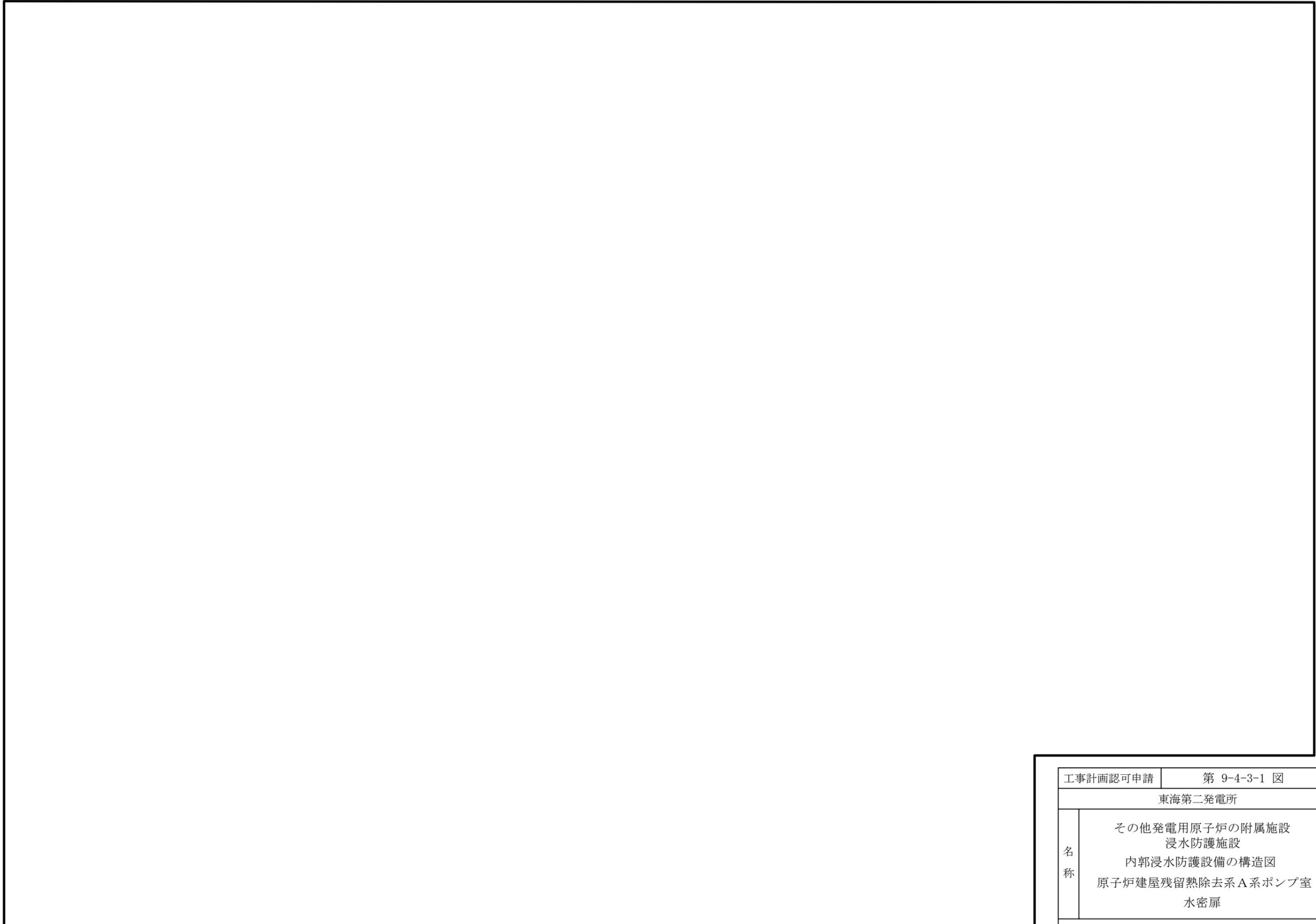


工事計画認可申請 第 9-4-2-24 図	
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋付属棟南側水密扉
日本原子力発電株式会社	
7Y11	

工事計画認可申請 第 9-4-2-25 図	
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋付属棟北側水密扉 1
日本原子力発電株式会社	
7Y11	



工事計画認可申請 第 9-4-2-26 図	
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 外郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋付属棟北側水密扉 2
日本原子力発電株式会社	
7Y11	

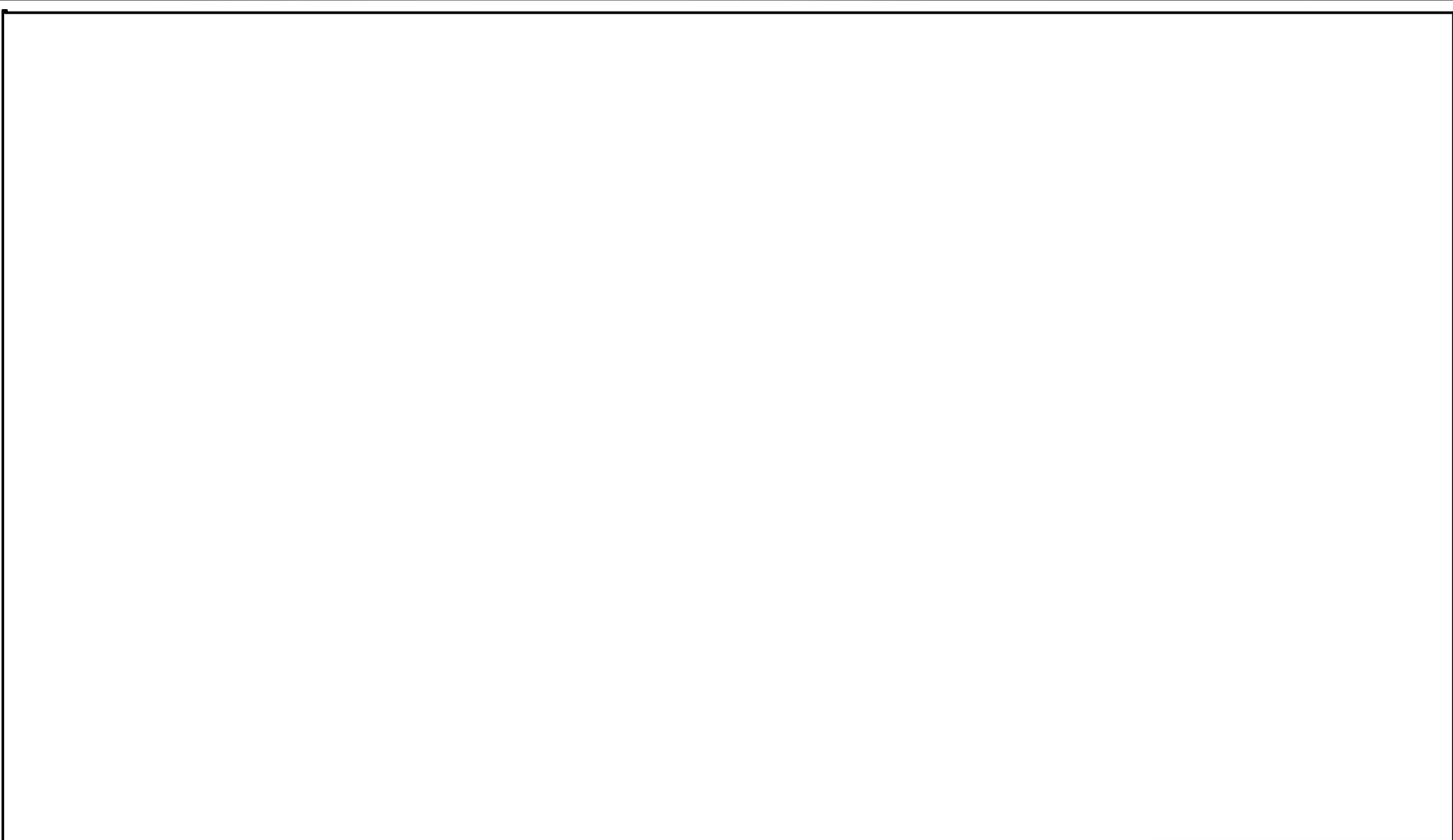


工事計画認可申請	第 9-4-3-1 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋残留熱除去系 A系ポンプ室 水密扉
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-3-1 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋残留熱除去系 A 系ポンプ室水密扉」別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

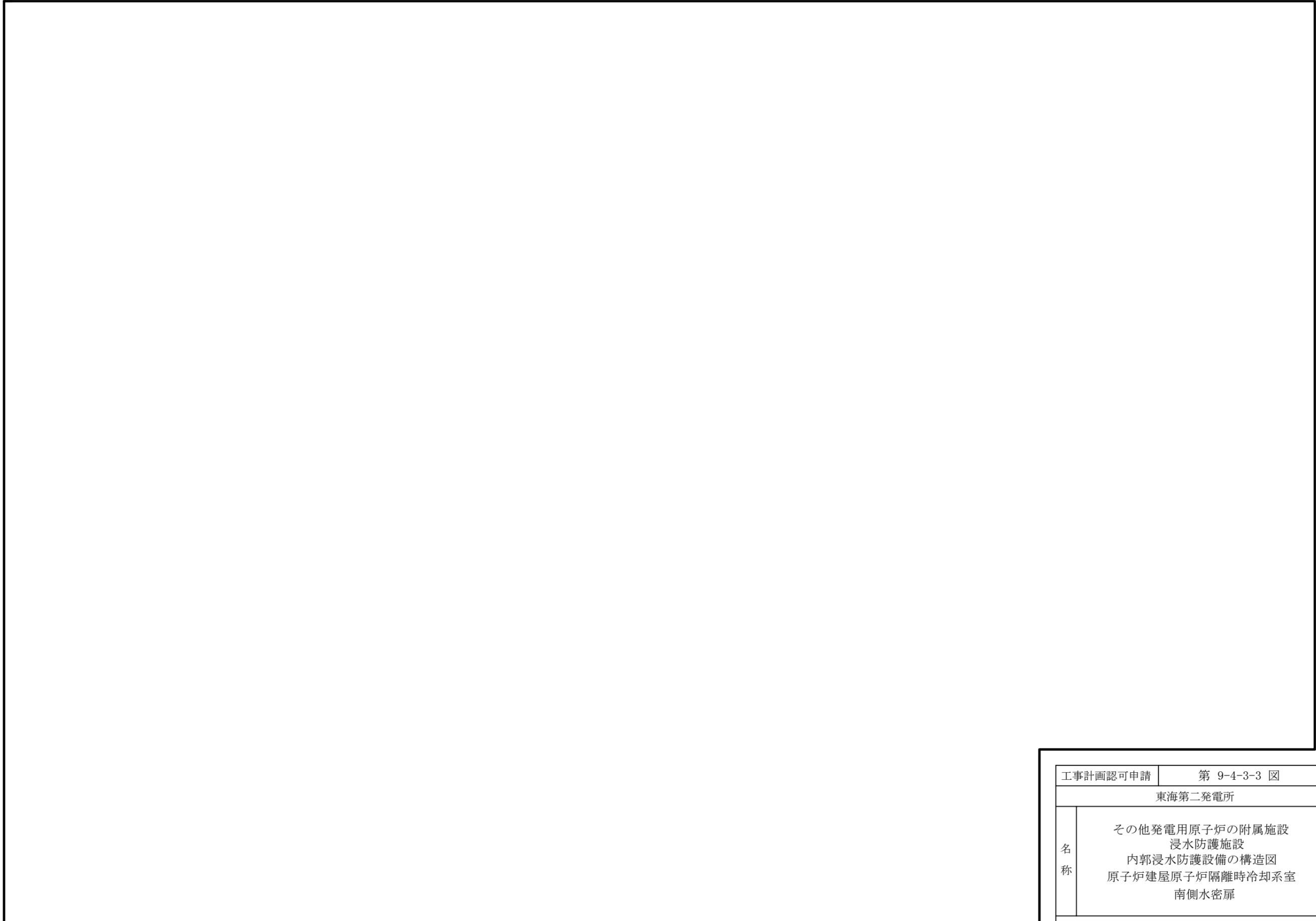


工事計画認可申請	第 9-4-3-2 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋原子炉隔離時冷却系室 北側水密扉
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-3-2 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋原子炉隔離時冷却系室北側水密扉」別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た	て	□	□
横		□	□

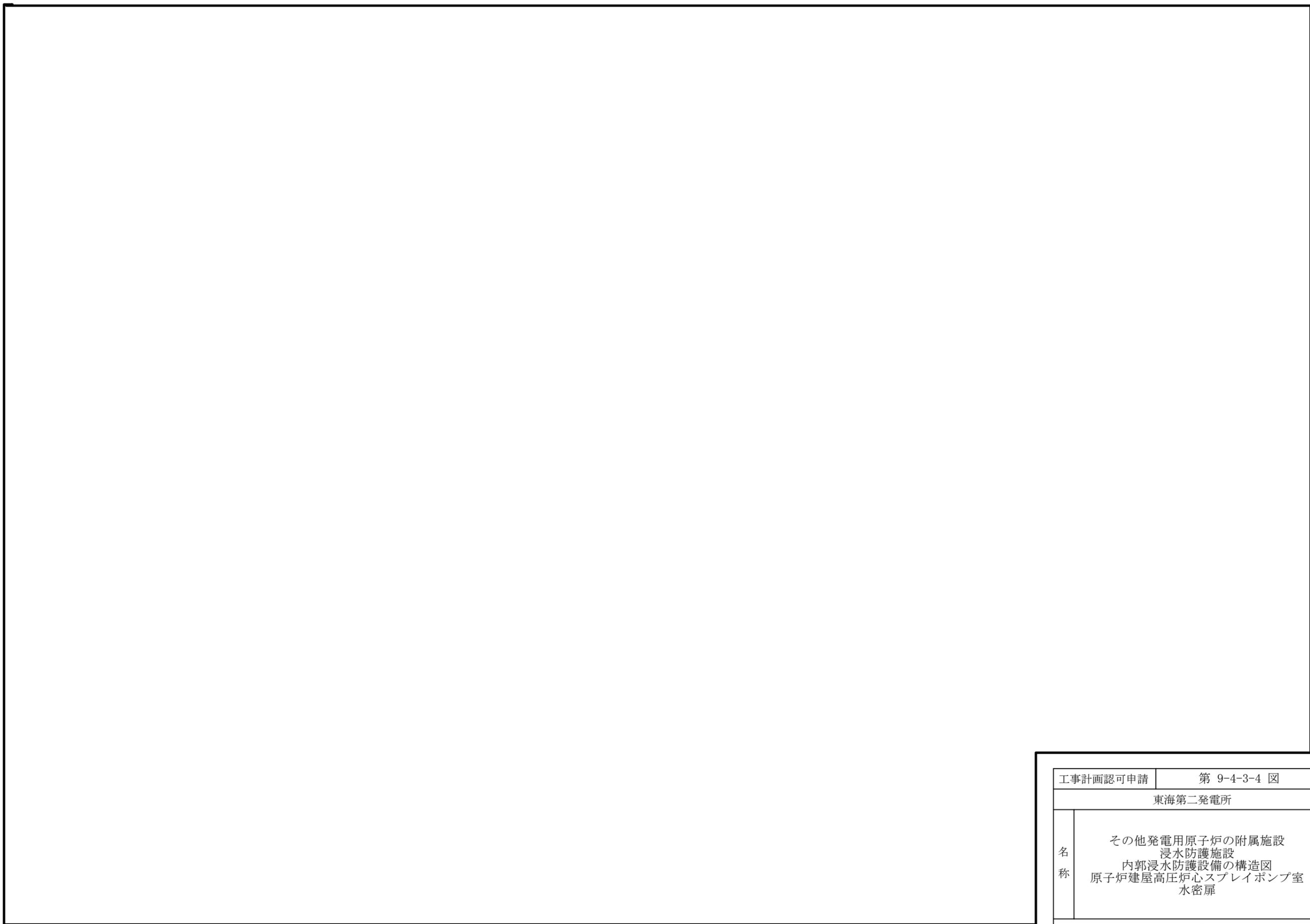


工事計画認可申請	第 9-4-3-3 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋原子炉隔離時冷却系室 南側水密扉
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-3-3 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋原子炉隔離時冷却系室南側水密扉」別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>



工事計画認可申請	第 9-4-3-4 図
東海第二発電所	
名称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋高圧炉心スプレイポンプ室 水密扉
日本原子力発電株式会社	

第 9-4-3-4 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 原子炉建屋高圧炉心スプレイポンプ室水密扉」別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
た て	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
横	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

		工事計画認可申請		第 9-4-3-5 図	
		東 海 第 二 発 電 所			
		名 称	その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 海水ポンプ室ケーブル点検口 浸水防止蓋 1, 2, 3		
		日 本 原 子 力 発 電 株 式 会 社			

第 9-4-3-5 図「その他発電用原子炉の附属施設 浸水防護施設 内郭浸水防護設備の構造図 海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋 1, 2, 3」別紙

(1) 海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋の寸法許容範囲

工事計画書記載の海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋に関する公称値の許容範囲は次のとおり

名 称		適用寸法(mm)			備 考
		最大値	公称値	最小値	
海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋 1, 2, 3	たて	1203	1200	1197	
	横	852	850	848	
	厚さ	19.35	18.0	17.75	

(2) 許容範囲の根拠

許容範囲の根拠となる許容差等は次のとおり

名称		許容差	根拠
海水ポンプ室ケーブル点検口浸水防止蓋 1, 2, 3	たて	公称値 $\pm 3\text{mm}$	JIS B 0405 ^{*1} の表 1 の粗級を適用
	横	公称値 $\pm 2\text{mm}$	JIS B 0405 ^{*1} の表 1 の粗級を適用
	厚さ	公称値 $+1.35\text{mm}$ 公称値 -0.25mm	JIS G 4304 ^{*2} の表 21 板の厚さの許容差（記号 B）の幅 1000 未満を適用

注記 *1：日本工業規格 JIS B 0405 「普通公差-第 1 部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差」

*2：日本工業規格 JIS G 4304 「熱間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」